

# 参考資料 1. 住民アンケート調査の結果

## 《調査概要》

- 調査時期 平成 25 年 8 月 21 日から平成 25 年 9 月 11 日
- 調査方法 郵送による配布回収
- 調査対象者 18 歳以上の町民を無作為により抽出し、1,500 人に発送
- 回収 368 通 (回収率 24.5%)

※地区別、性別、年齢別、東浦町に住み始めた時期別の集計については、標本数が少なく十分な信頼水準が確保できないため、参考数値として取り扱う。

※表・グラフの割合の数値は、端数処理の関係で各項目の合計値が 100%にならない箇所がある。

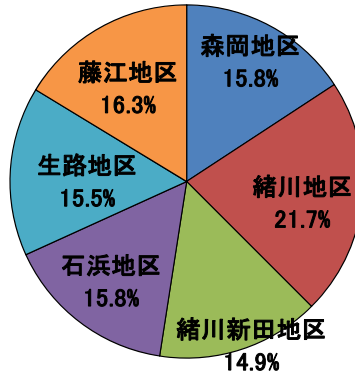
## 《アンケートの結果の概要と計画の反映に向けた考察》

結果の概要・ポイント	考察
○景観へ関心をもつ住民は多くなっているが、30～40 歳代、男性の関心はやや低くなっている。	⇒ ■30～40 歳代、男性を中心に、景観への関心をさらに高める取組を検討する必要がある。
○景観への満足度はあまり高いとはいえず、「どちらともいえない」の回答が最も多くなっている。	⇒ ■住民に景観のイメージが理解されていないことが要因と想定されることから、景観づくりを理解し、東浦町の景観像の共通認識を醸成する取組を検討する必要がある。
○10 年前に比べ景観がよくなったとする意見も多くなっている。	⇒ ■古くからの資源の保全だけでなく、まちづくりにおける新しい景観づくりも必要となっている。
○重要な景観資源としては、「田園」「山林や里山」「大きな公園」「歴史的資源」が多くなっている。	⇒ ■里山や田園風景などの自然資源、社寺や町並みなどの歴史資源の保全・活用を景観づくりの中心に位置づける必要がある。
○お気に入りの風景としては、田畑、田園風景、里山の他に、ぶどう畑や果樹園をあげる意見が多くなっている。	⇒ ■ぶどう畑は東浦町の特徴的な景観として、保全・活用していく必要がある。
○丘陵地の高台や斜面の上からぶどう畑や旧道沿いの町並みや対岸の刈谷方向などの眺望をお気に入りの風景としてあげる意見も多くなっている。	⇒ ■眺望が楽しめる場所（視点場）を整えることも必要である。
○大切にすべき景観として「緑豊かな自然を感じる景観」の他に「毎日見てホッとさせる景観」も多くなっている。	⇒ ■名所的景観だけでなく、各地区の住宅地の周りの身近な生活景観の保全や創造も必要となっている。
○景観づくりの方法としては、「住民が自宅の周りをきれいにする」が最も多く、一方「厳格なルールを設けて法や条例に基づき制限する」は比較的少なかった。	⇒ ■法や条例による規制中心の景観計画ではなく、住民一人ひとりの活動を景観づくりにつなげることを中心とした景観計画が求められる。
○景観に関するその他の意見として、東浦のアピールや観光振興に活用すべきとの意見も多くあげられた。	⇒ ■東浦町のイメージアップや観光振興にも貢献する景観づくりが必要となっている。
○景観に関するその他の意見として、ゴミ不法投棄、草刈り、空き地・空き家への対応を課題とする意見も多くあった。	⇒ ■不法投棄問題や空き地・空き家対策についても、景観づくりとあわせて取り組む必要がある。

《結果の概要》

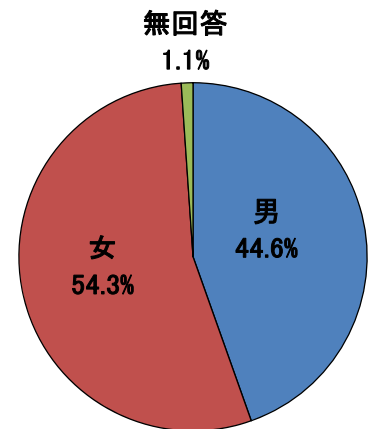
【問1】あなたのお住まいの地区を教えてください。

	件数	割合
森岡地区	58	15.8%
緒川地区	80	21.7%
緒川新田地区	55	14.9%
石浜地区	58	15.8%
生路地区	57	15.5%
藤江地区	60	16.3%
合計	368	100.0%



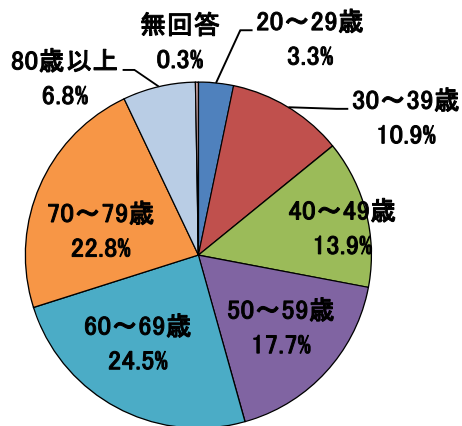
【問2】あなたの性別を教えてください。

	件数	割合
男	164	44.6%
女	200	54.3%
無回答	4	1.1%
合計	368	100.0%



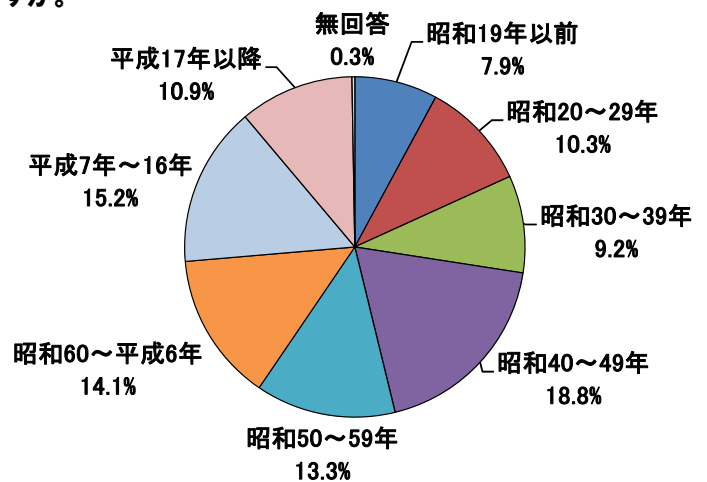
【問3】あなたの年齢を教えてください。

	件数	割合
20～29歳	12	3.3%
30～39歳	40	10.9%
40～49歳	51	13.9%
50～59歳	65	17.7%
60～69歳	90	24.5%
70～79歳	84	22.8%
80歳以上	25	6.8%
無回答	1	0.3%
合計	368	100.0%



【問4】あなたが東浦町の最初に住んだのはいつ頃ですか。

	件数	割合
昭和19年以前	29	7.9%
昭和20～29年	38	10.3%
昭和30～39年	34	9.2%
昭和40～49年	69	18.8%
昭和50～59年	49	13.3%
昭和60～平成6年	52	14.1%
平成7年～16年	56	15.2%
平成17年以降	40	10.9%
無回答	1	0.3%
合計	368	100.0%

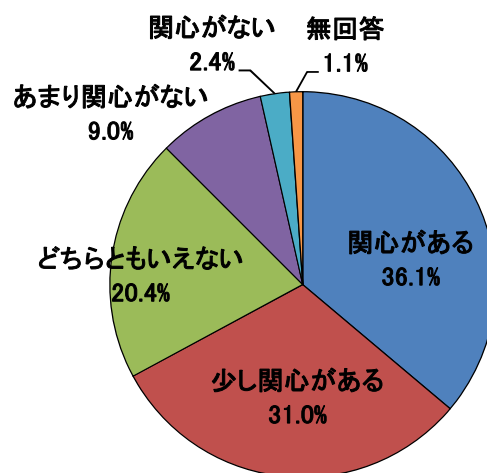


**【問5】東浦町の景観に関心がありますか。(1つだけ選ぶ)**

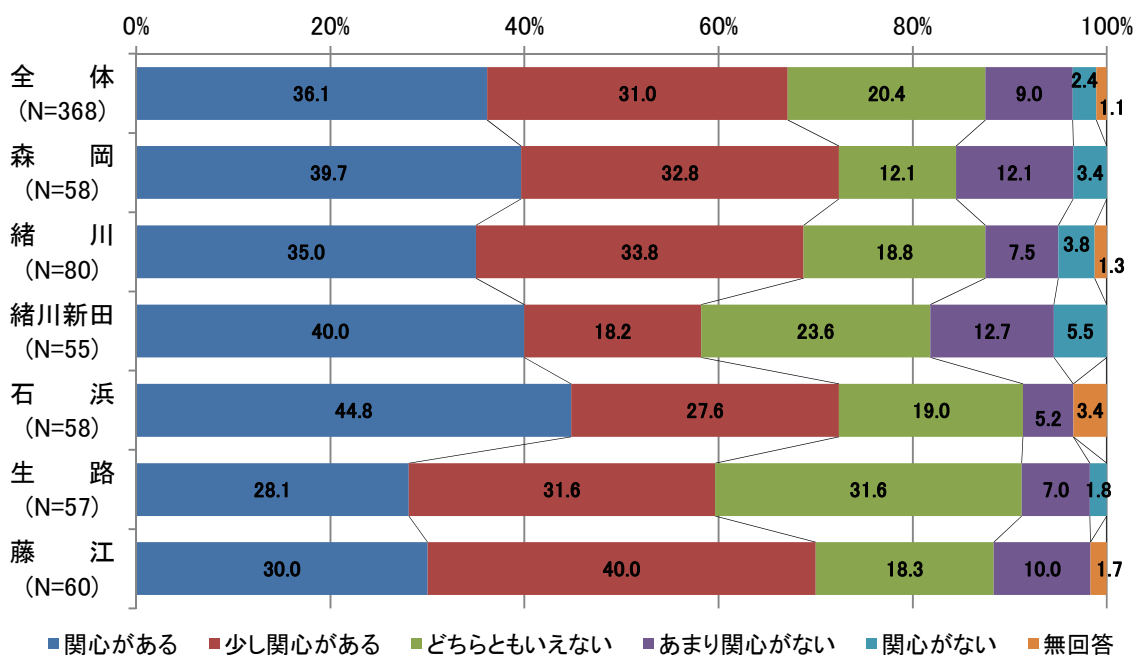
- 「関心がある」がもっとも多く36.1%であり、「少し関心がある」もあわせると67.1%が関心をもっているといえます。
- 地区別では、緒川新田地区、生路地区において「関心がある」「少し関心がある」をあわせた割合が低くなっています。
- 性別では、男性の方が「関心がある」「少し関心がある」をあわせた割合が高くなっています。
- 年齢別では、20～39歳と50歳代において「関心がある」「少し関心がある」をあわせた割合が低くなっています。
- 東浦町に住み始めた時期別では、昭和60年以降において「関心がある」「少し関心がある」をあわせた割合が低くなっています。

**<全体>**

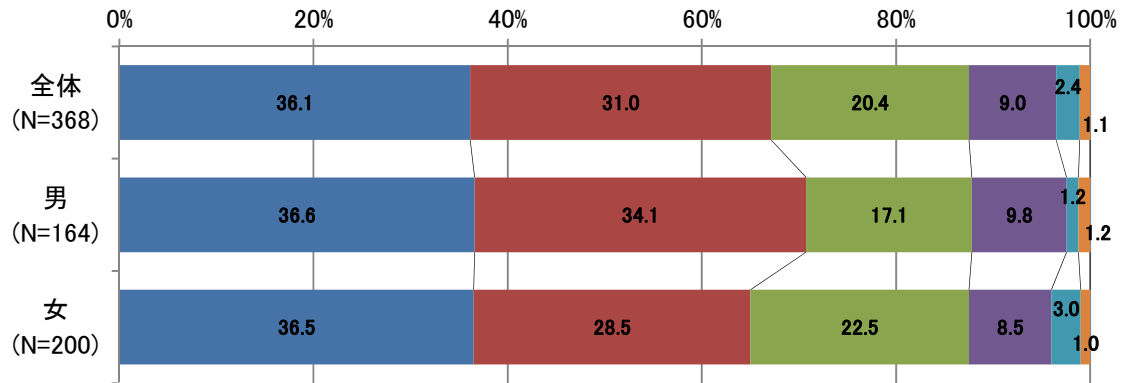
	件数	割合
関心がある	133	36.1%
少し関心がある	114	31.0%
どちらともいえない	75	20.4%
あまり関心がない	33	9.0%
関心がない	9	2.4%
無回答	4	1.1%
合計	368	100.0%



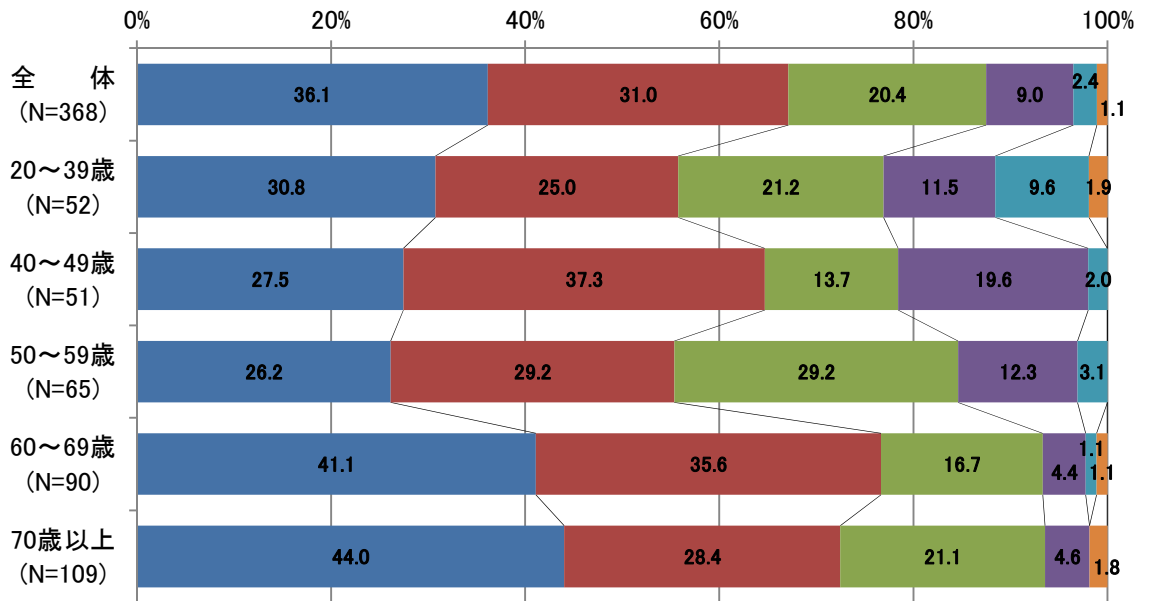
**<地区別>**



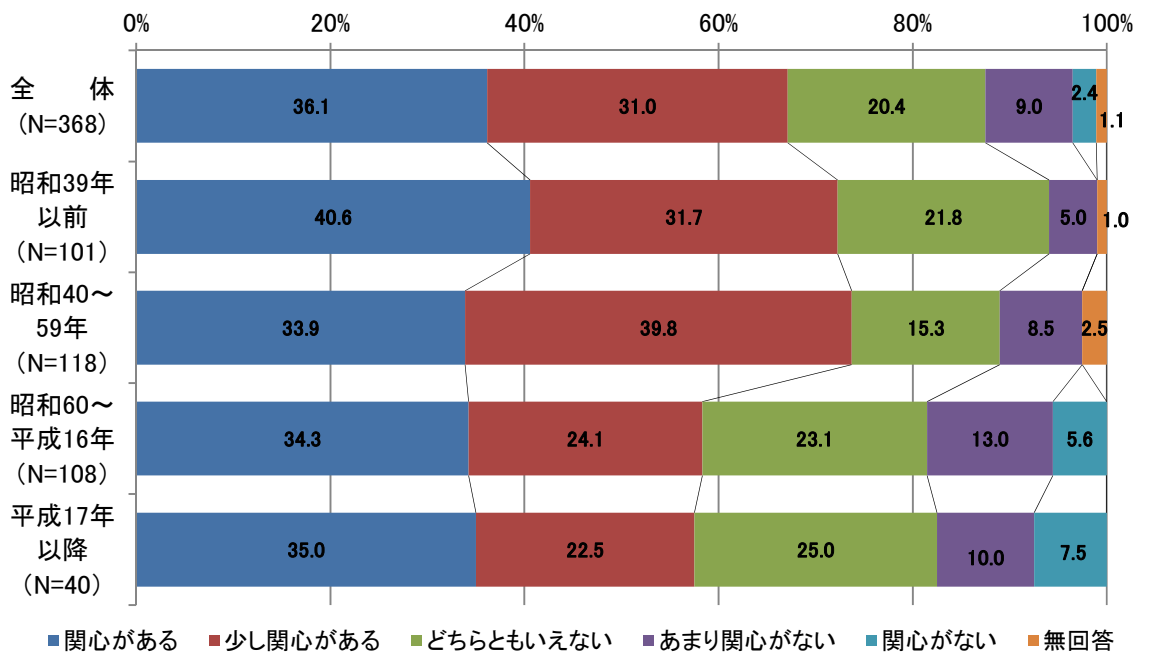
<性別>



<年齢別>



<東浦町に住み始めた時期別>



**【問6】東浦町の景観に満足していますか。(1つだけ選ぶ)**

○「満足している」「少し満足している」をあわせると 35.9%、「満足していない」「あまり満足していない」をあわせると 25.3%であり、満足を感じる人の方が多くなっていますが、「どちらともいえない」も 37.8%と多くなっています。

○地区別では、森岡地区、藤江地区において「満足している」「少し満足している」をあわせた割合が多くなっています。

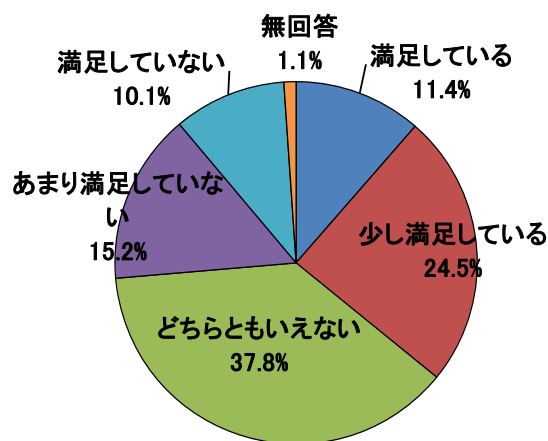
○性別では、女性の方が「満足している」「少し満足している」をあわせた割合が高くなっています。

○年齢別では、40歳代、70歳代以上において「満足している」「少し満足している」をあわせた割合が高くなっています。

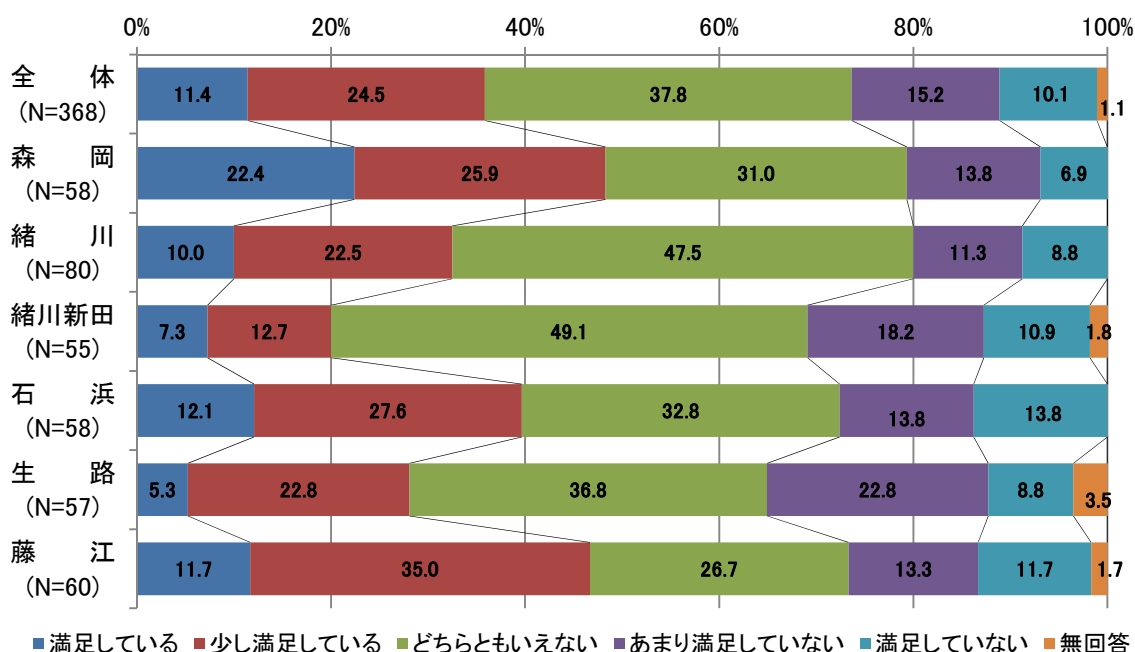
○東浦町に住み始めた時期別では、「満足している」の割合は平成17年以降の人が最も高く、「少し満足している」もあわせると昭和40～59年が最も高くなっています。

**<全体>**

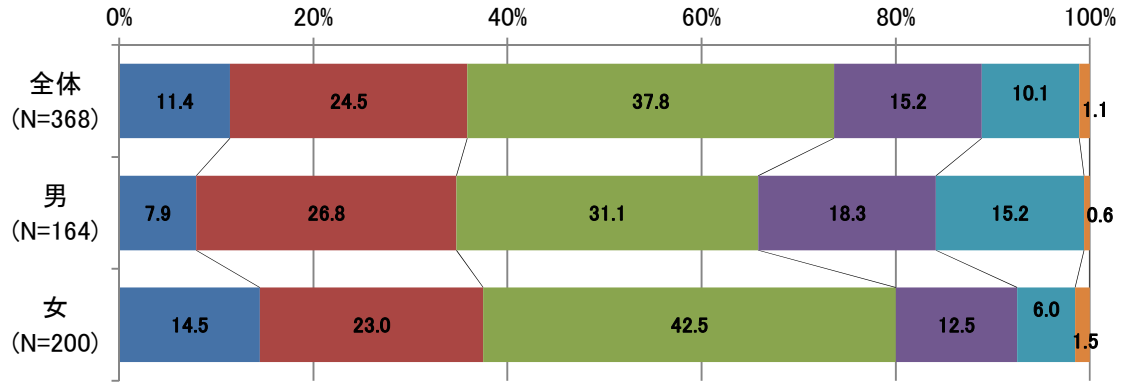
	件数	割合
満足している	42	11.4%
少し満足している	90	24.5%
どちらともいえない	139	37.8%
あまり満足していない	56	15.2%
満足していない	37	10.1%
無回答	4	1.1%
合計	368	100.0%



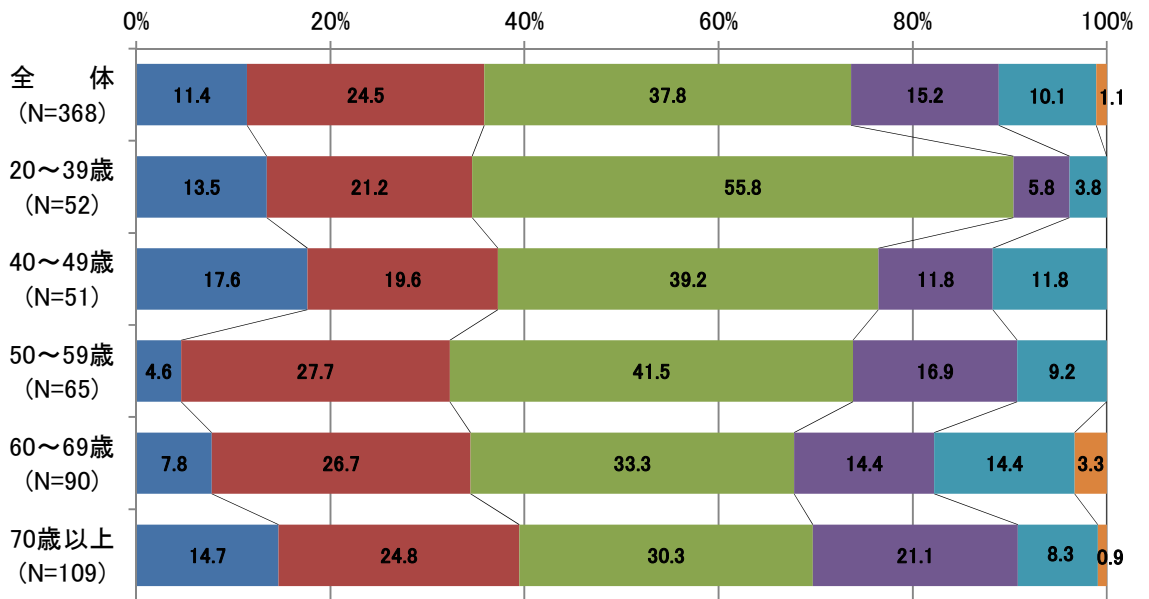
**<地区別>**



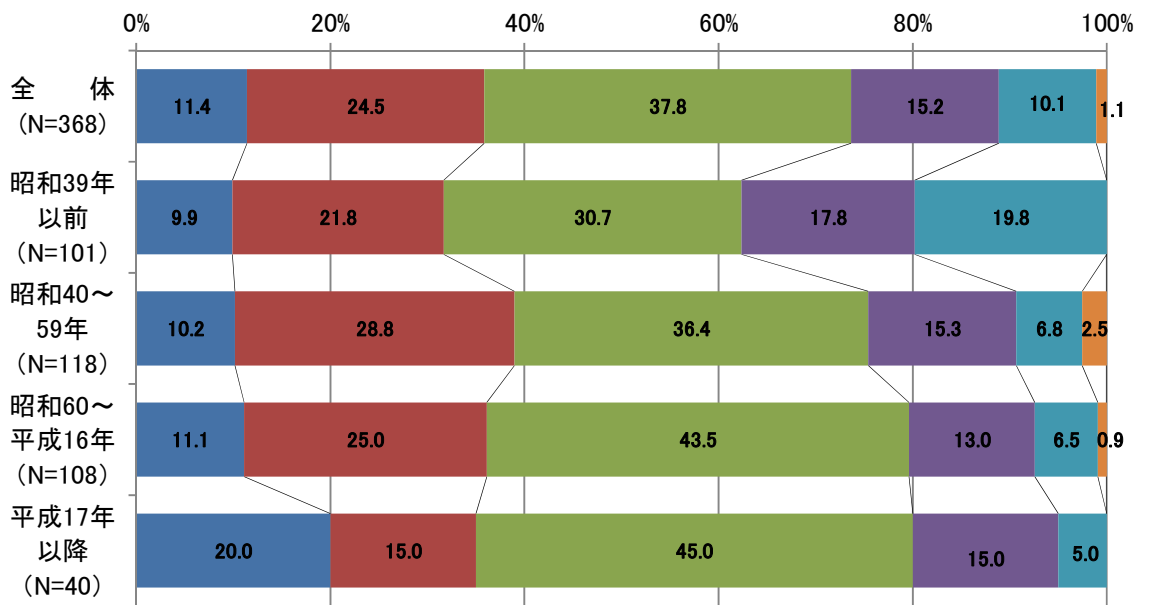
<性別>



<年齢別>



<東浦町に住み始めた時期別>



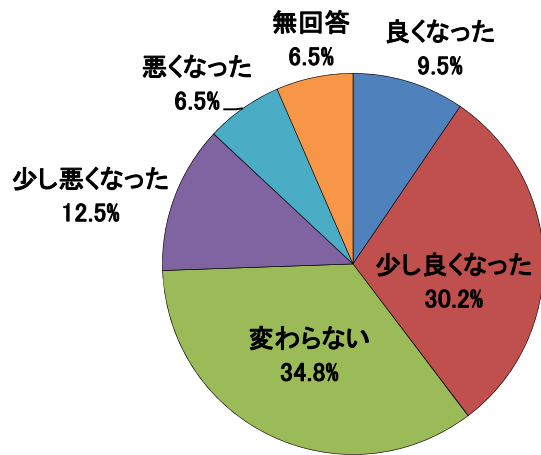
■ 満足している ■ 少し満足している ■ どちらともいえない ■ あまり満足していない ■ 満足していない ■ 無回答

**【問7】東浦町の景観は、概ね10年前に比べてどうなったと思いますか。(1つだけ選ぶ)**

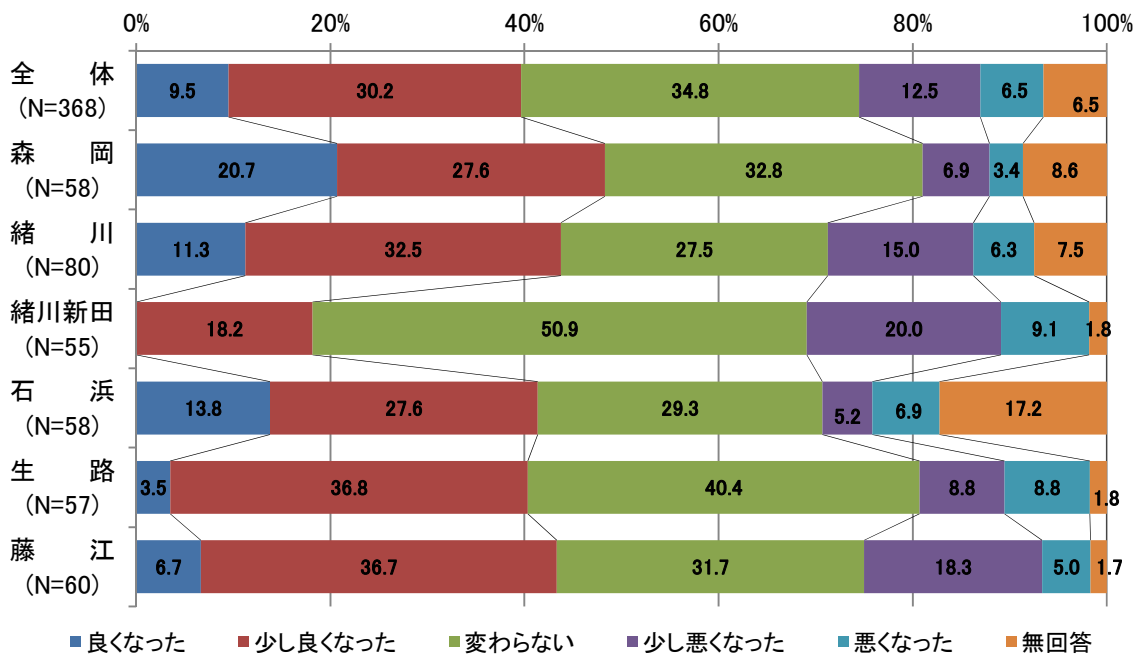
- 「少し良くなった」がもっとも多く30.2%であり、「良くなった」もあわせると39.7%が良くなったと評価しています。
- 地区別では、森岡地区において「良くなった」「少し良くなった」をあわせた割合が高くなっています。
- 性別では、「良くなった」は女性の方が高くなっていますが、「少し良くなった」もあわせると男女ともほぼ同じ割合になっています。
- 年齢別では、60歳代と70歳代以上において「良くなった」「少し良くなった」をあわせた割合が高くなっています。
- 東浦町に住み始めた時期別では、昭和39年以前と昭和40～59年において「良くなった」「少し良くなった」をあわせた割合が高くなっています。

**<全体>**

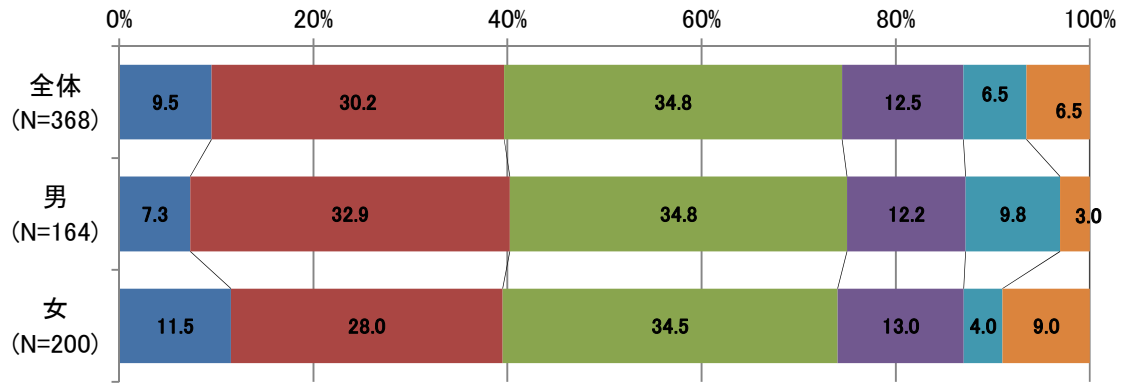
	件数	割合
良くなった	35	9.5%
少し良くなった	111	30.2%
変わらない	128	34.8%
少し悪くなった	46	12.5%
悪くなった	24	6.5%
無回答	24	6.5%
合計	368	100.0%



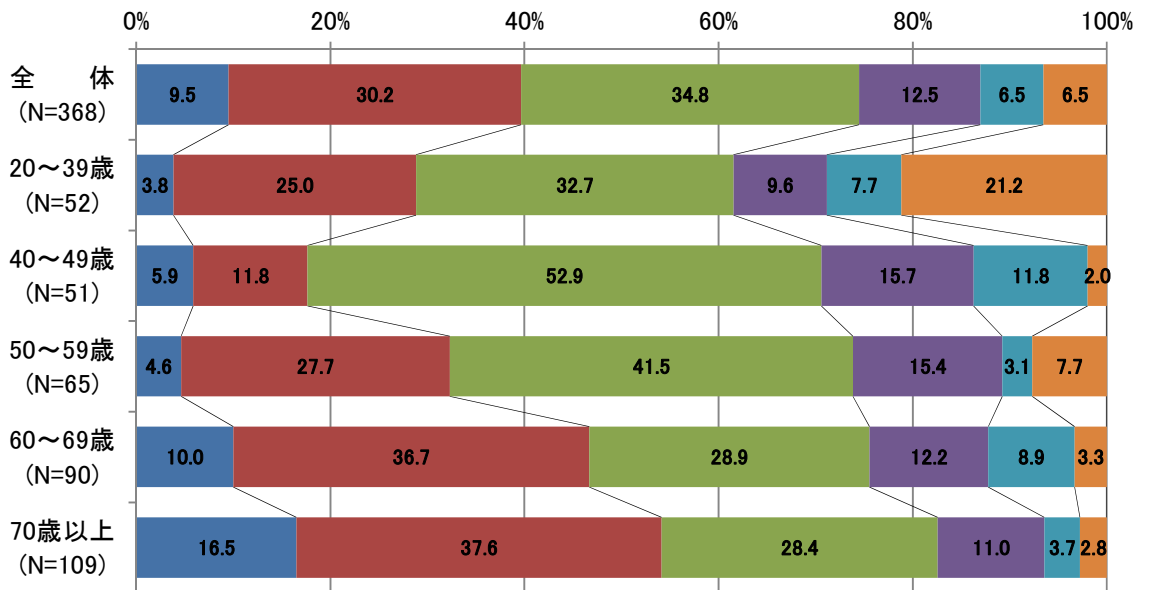
**<地区別>**



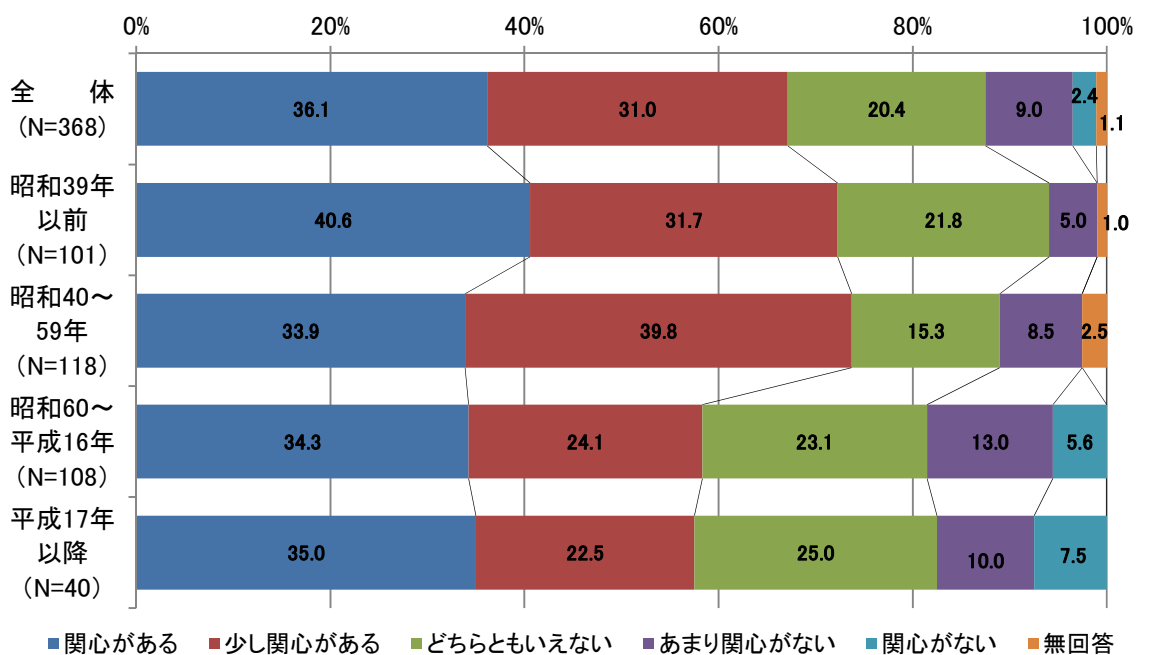
<性別>



<年齢別>



<東浦町に住み始めた時期別>





【問8】東浦町の景観で、重要なものは何だと思いますか。(3つまでを選ぶ)

○「田園」「大きな公園」「山林や里山」「歴史的資産」を重要とする意見が多くなっています。

○地区別では、緒川地区と生路地区は「大きな公園」、緒川新田地区は「山林や里山」と石浜地区と藤江地区は「田園」、森岡地区は「田園」と「歴史的資産」が最も多くなっています。

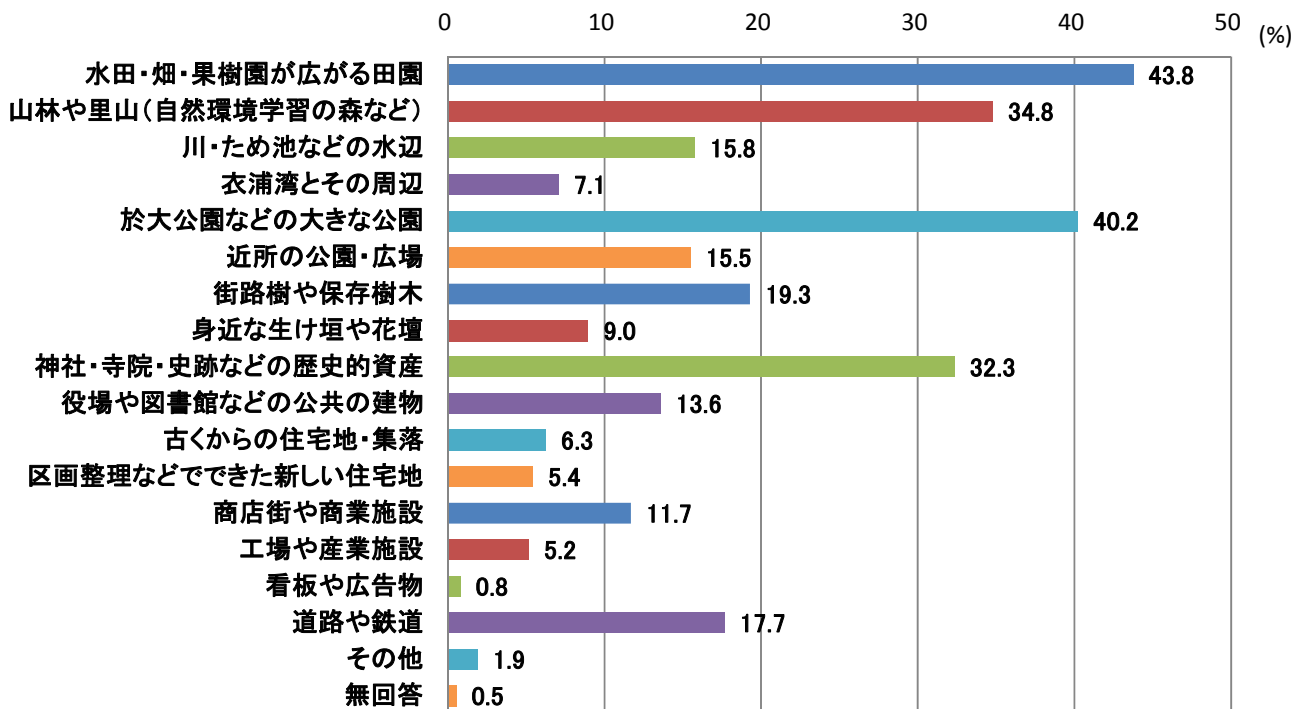
○性別では、「田園」「大きな公園」「歴史的資産」は女性の意見が多く、「山林や里山」は男性の意見が多くなっています。

○年齢別では、20～39歳、40歳代、50歳代は「田園」、60歳代は「歴史的資産」と70歳代以上は「大きな公園」が最も多くなっています。

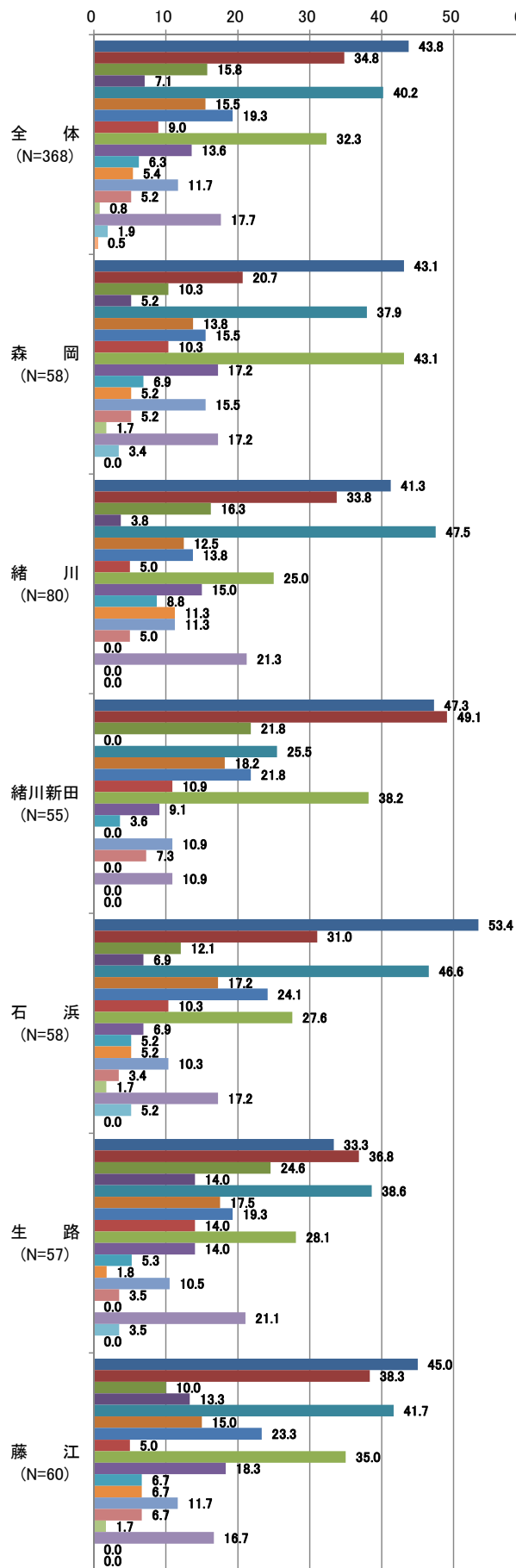
○東浦町に住み始めた時期別では、古くから住む人は「歴史的資産」「大きな公園」が多く、新しく住む人は「田園」が多くなっています。

<全体>

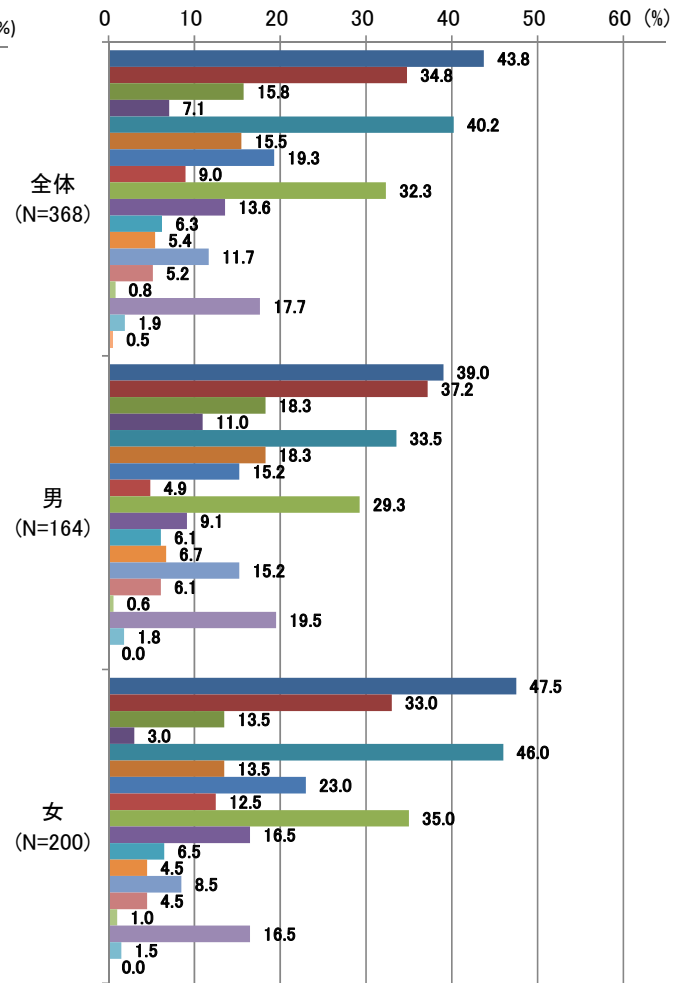
	件数	割合
水田・畑・果樹園が広がる田園	161	43.8%
山林や里山（自然環境学習の森など）	128	34.8%
川・ため池などの水辺	58	15.8%
衣浦湾とその周辺	26	7.1%
於大公園などの大きな公園	148	40.2%
近所の公園・広場	57	15.5%
街路樹や保存樹木	71	19.3%
身近な生け垣や花壇	33	9.0%
神社・寺院・史跡などの歴史的資産	119	32.3%
役場や図書館などの公共の建物	50	13.6%
古くからの住宅地・集落	23	6.3%
区画整理などでできた新しい住宅地	20	5.4%
商店街や商業施設	43	11.7%
工場や産業施設	19	5.2%
看板や広告物	3	0.8%
道路や鉄道	65	17.7%
その他	7	1.9%
無回答	2	0.5%
回収標本数	368	100.0%



<地区別>

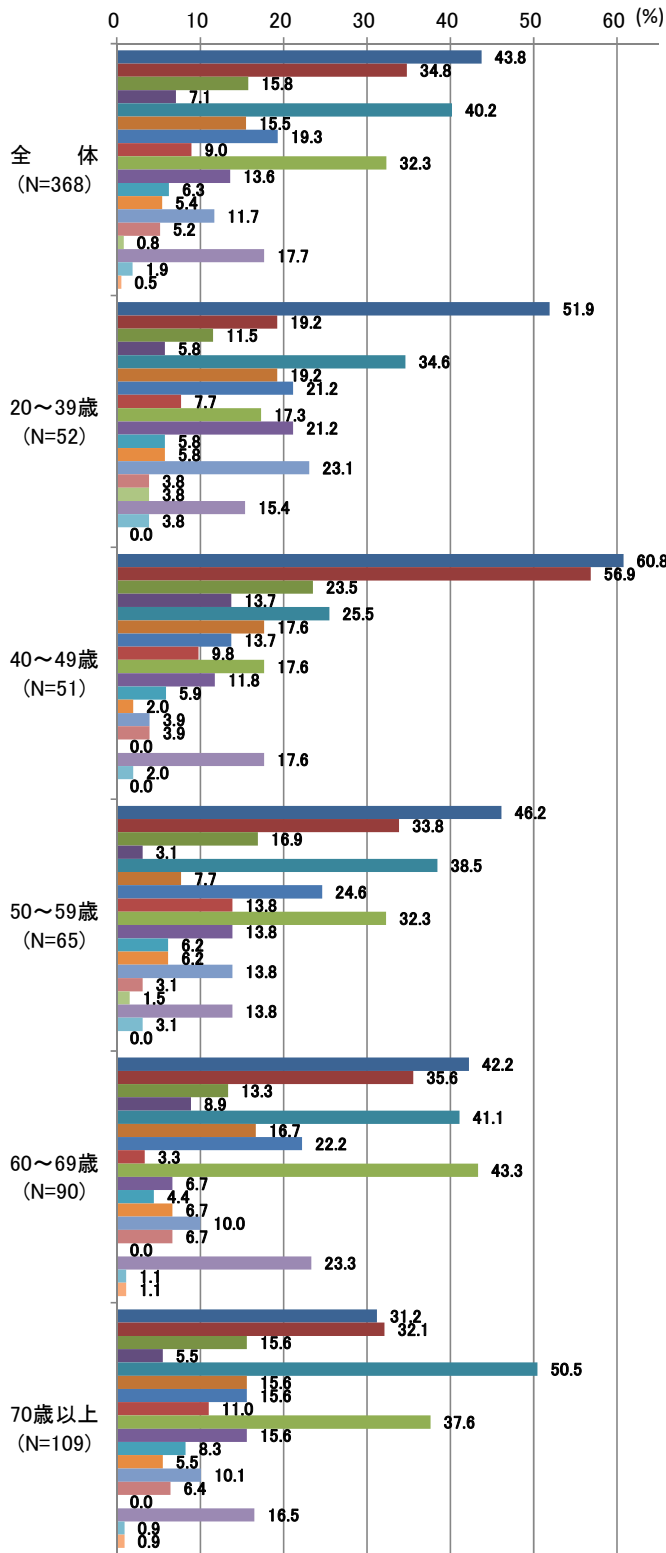


<性別>

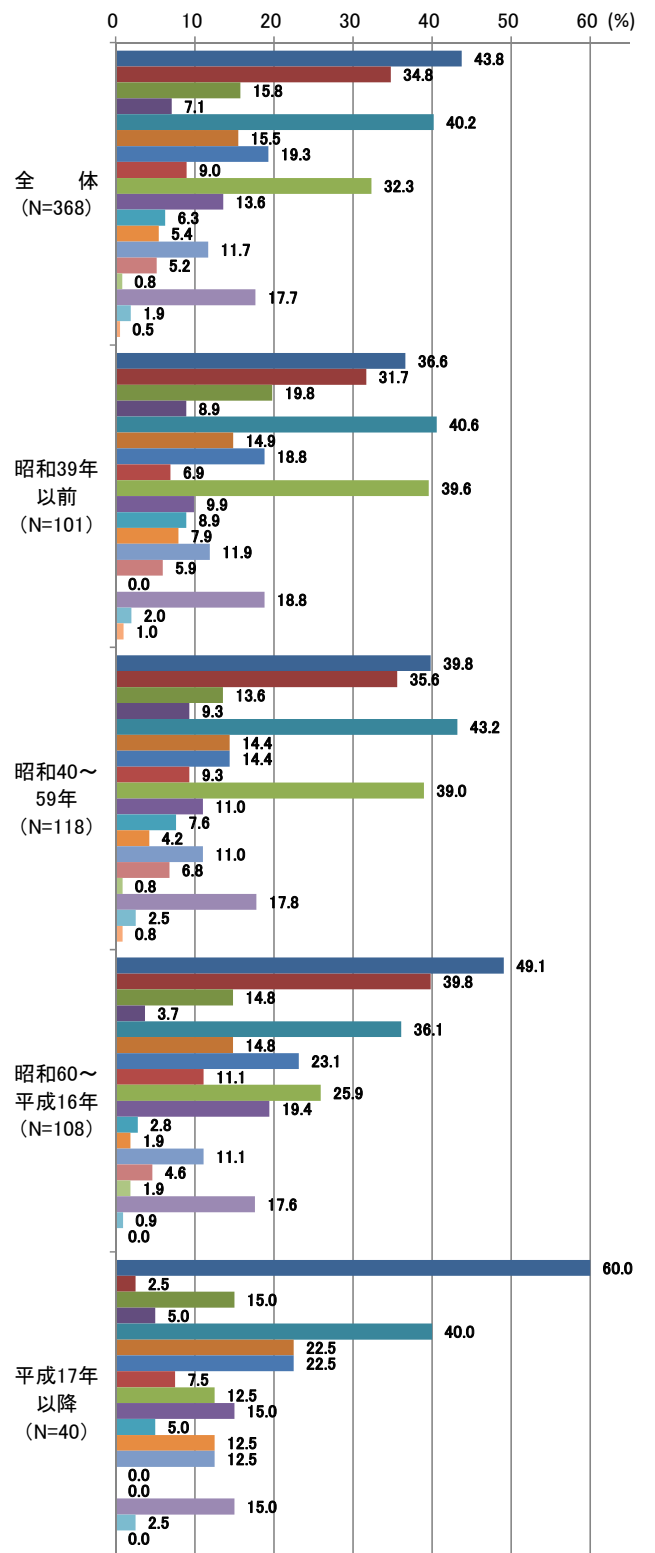


- 水田・畑・果樹園が広がる田園
- 山林や里山(自然環境学習の森など)
- 川・ため池などの水辺
- 衣浦湾とその周辺
- 於大公園などの大きな公園
- 近所の公園・広場
- 街路樹や保存樹木
- 身近な生け垣や花壇
- 神社・寺院・史跡などの歴史的資産
- 役場や図書館などの公共の建物
- 古くからの住宅地・集落
- 区画整理などでできた新しい住宅地
- 商店街や商業施設
- 工場や産業施設
- 看板や広告物
- 道路や鉄道
- その他
- 無回答

<年齢別>



<東浦町に住み始めた時期別>



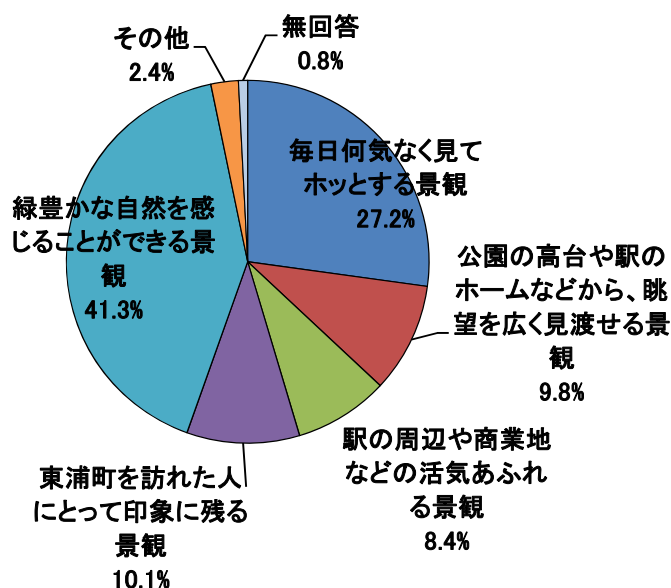
- 水田・畑・果樹園が広がる田園
- 山林や里山(自然環境学習の森など)
- 川・ため池などの水辺
- 衣浦湾とその周辺
- 於大公園などの大きな公園
- 近所の公園・広場
- 街路樹や保存樹木
- 身近な生け垣や花壇
- 神社・寺院・史跡などの歴史的資産
- 役場や図書館などの公共の建物
- 古くからの住宅地・集落
- 区画整理などでできた新しい住宅地
- 商店街や商業施設
- 工場や産業施設
- 看板や広告物
- 道路や鉄道
- その他
- 無回答

【問9】東浦町では、どのような景観を最も大切にすべきだと思いますか。(1つだけ選ぶ)

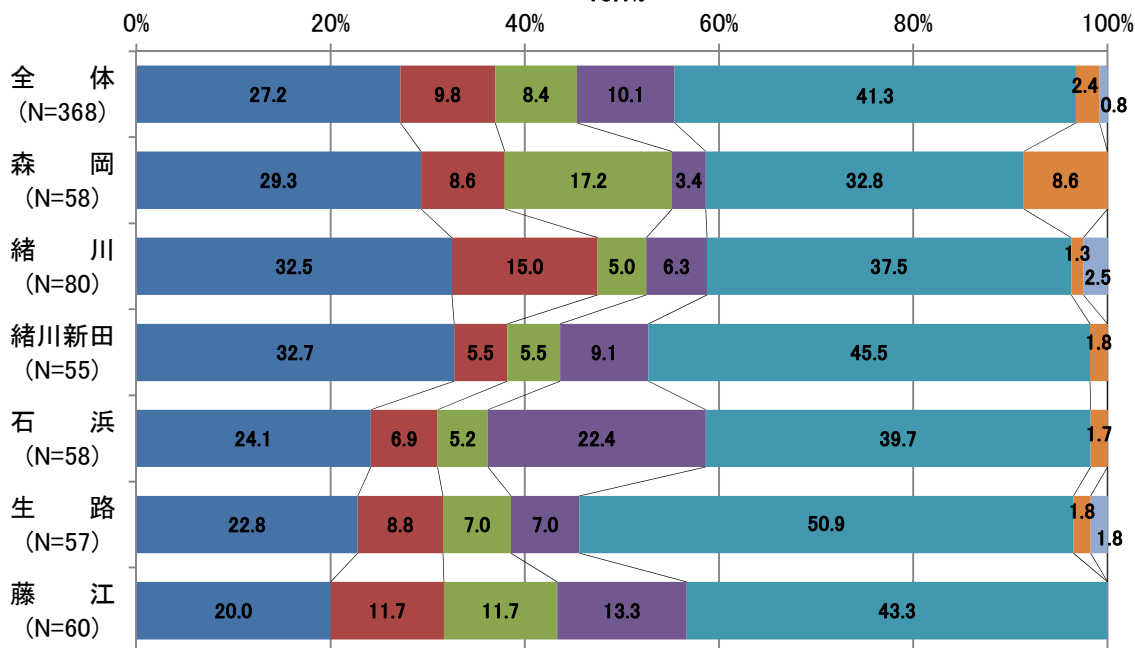
- 「緑豊かな自然を感じることができる景観」が最も多く、次いで「毎日何気なく見てホッとする景観」が多くなっています。
- 地区別では、すべての地区で「緑豊かな景観」が最も多くなっていますが、緒川地区、緒川新田地区では「ホッとする景観」の割合も他の地区に比べて高くなっています。
- 性別では、「緑豊かな自然を感じることができる景観」「毎日何気なく見てホッとする景観」ともに女性の方が割合が高くなっています。
- 年齢別では、20～39歳において「ホッとする景観」が「緑豊かな景観」を上回っています。
- 東浦町に住み始めた時期別では、いずれも「緑豊かな景観」の割合が最も高くなっています。

<全体>

	件数	割合
毎日何気なく見てホッとする景観	100	27.2%
公園の高台や駅のホームなどから、眺望を広く見渡せる景観	36	9.8%
駅の周辺や商業地などの活気あふれる景観	31	8.4%
東浦町を訪れた人にとって印象に残る景観	37	10.1%
緑豊かな自然を感じることができる景観	152	41.3%
その他	9	2.4%
無回答	3	0.8%
合計	368	100.0%

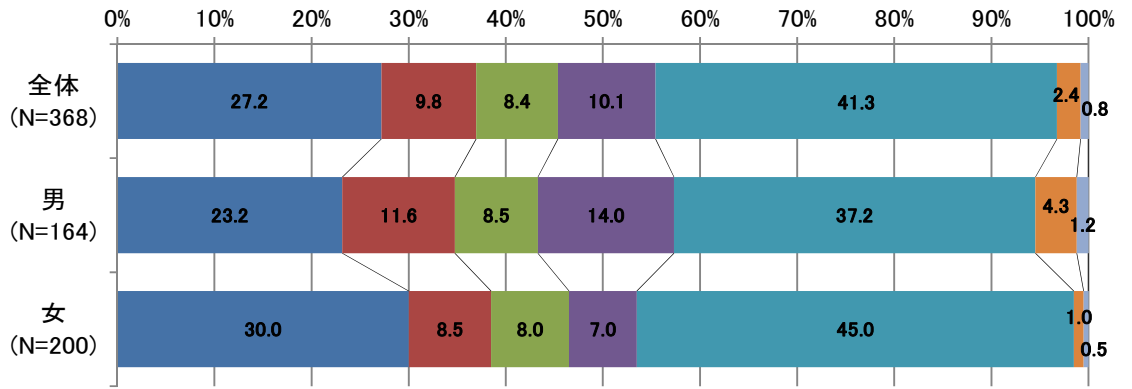


<地区別>

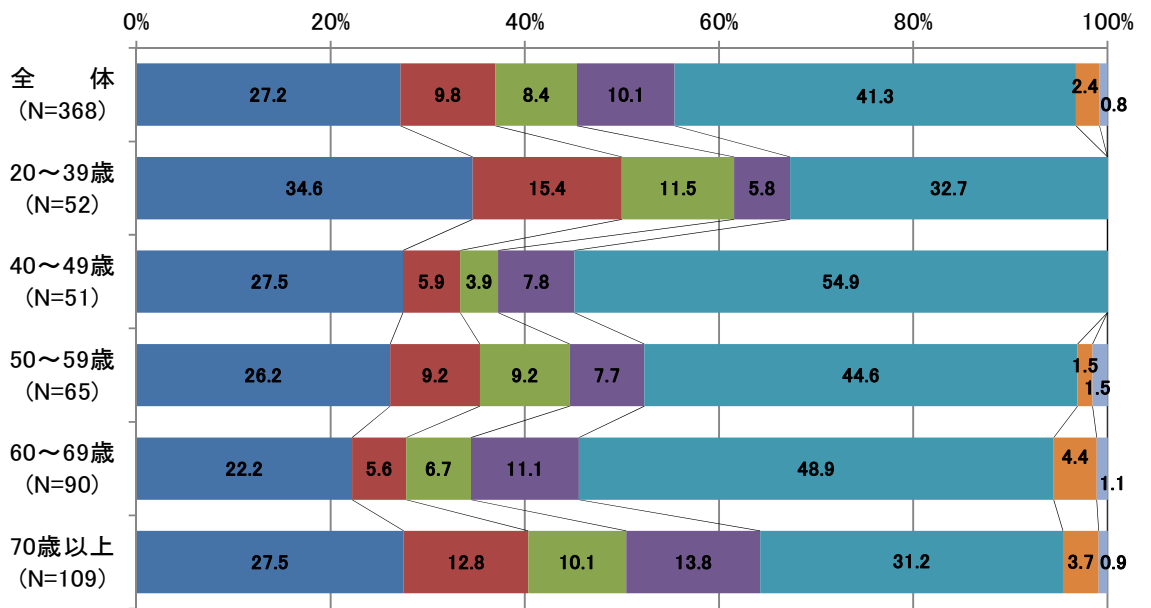


- 毎日何気なく見てホッとする景観
- 公園の高台や駅のホームなどから、眺望を広く見渡せる景観
- 駅の周辺や商業地などの活気あふれる景観
- 東浦町を訪れた人にとって印象に残る景観
- 緑豊かな自然を感じることができる景観
- その他
- 無回答

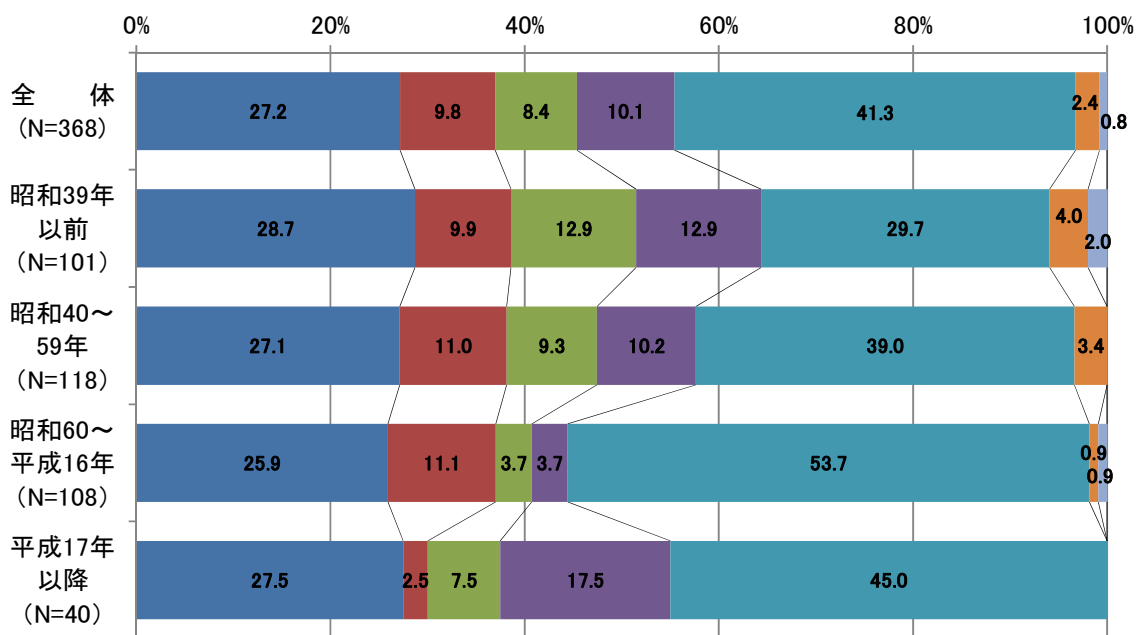
<性別>



<年齢別>



<東浦町に住み始めた時期別>



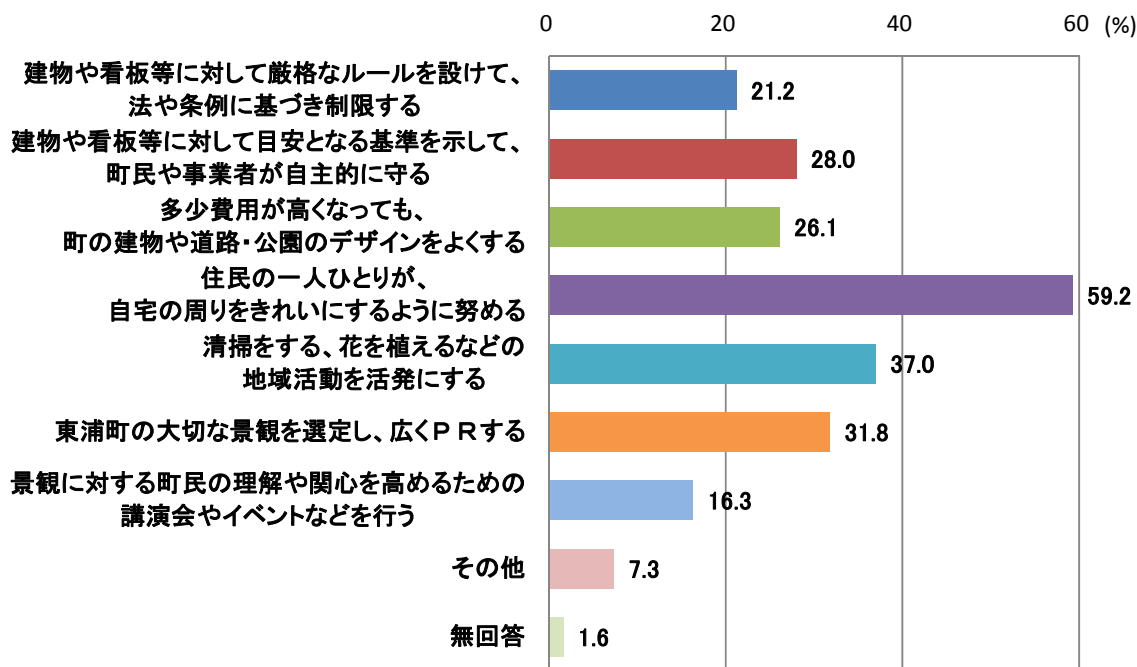
- 毎日何気なく見てホッとする景観
- 公園の高台や駅のホームなどから、眺望を広く見渡せる景観
- 駅の周辺や商業地などの活気あふれる景観
- 東浦町を訪れた人にとって印象に残る景観
- 緑豊かな自然を感じることができる景観
- その他
- 無回答

【問10】東浦町では、主にどのような方法で景観づくりを行うべきだと思いますか。(あてはまるものすべて選ぶ)

- 「住民の一人ひとりが自宅の周りをきれいにするように努める」が最も多くなっています。
- 地区別では、生路地区では「清掃をする、花を植えるなどの地域活動を活発にする」が最も多くなっています。
- 性別では、女性において「清掃をする、花を植えるなどの地域活動を活発にする」「建物や看板等に対して目安となる基準を示して町民や事業者が自主的に守る」が多くなっています。
- 年齢別では、60歳代において「東浦町の大切な景観を選定し広くPRする」、70歳代以上において「建物や看板等に対して目安となる基準を示して町民や事業者が自主的に守る」の割合が他の年代に比べ多くなっています。
- 東浦町に住み始めた時期別では、昭和40～59年において「建物や看板等に対して目安となる基準を示して町民や事業者が自主的に守る」の割合が他の時期に比べ多くなっています。

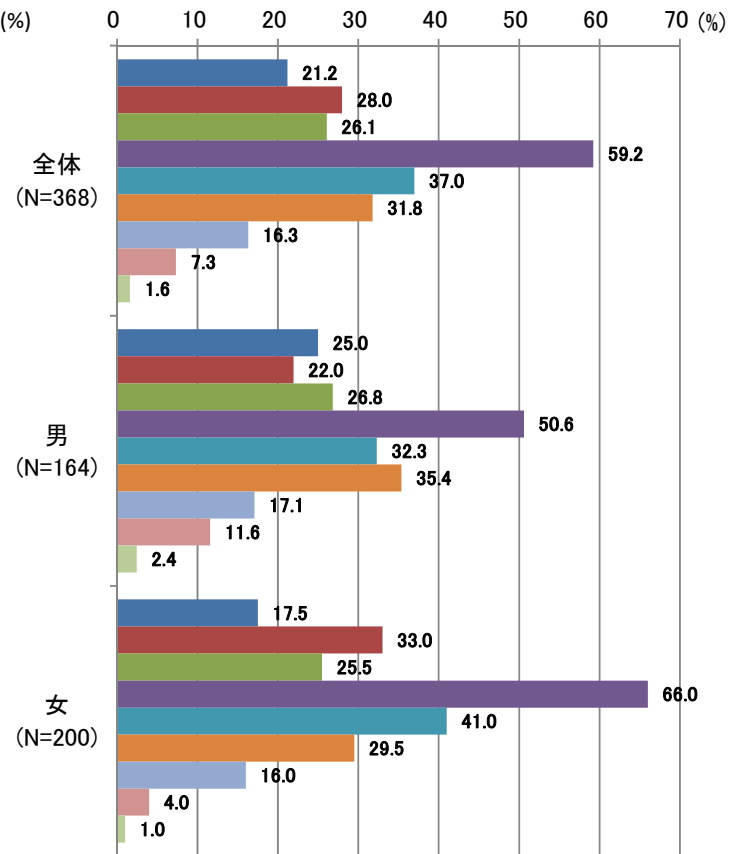
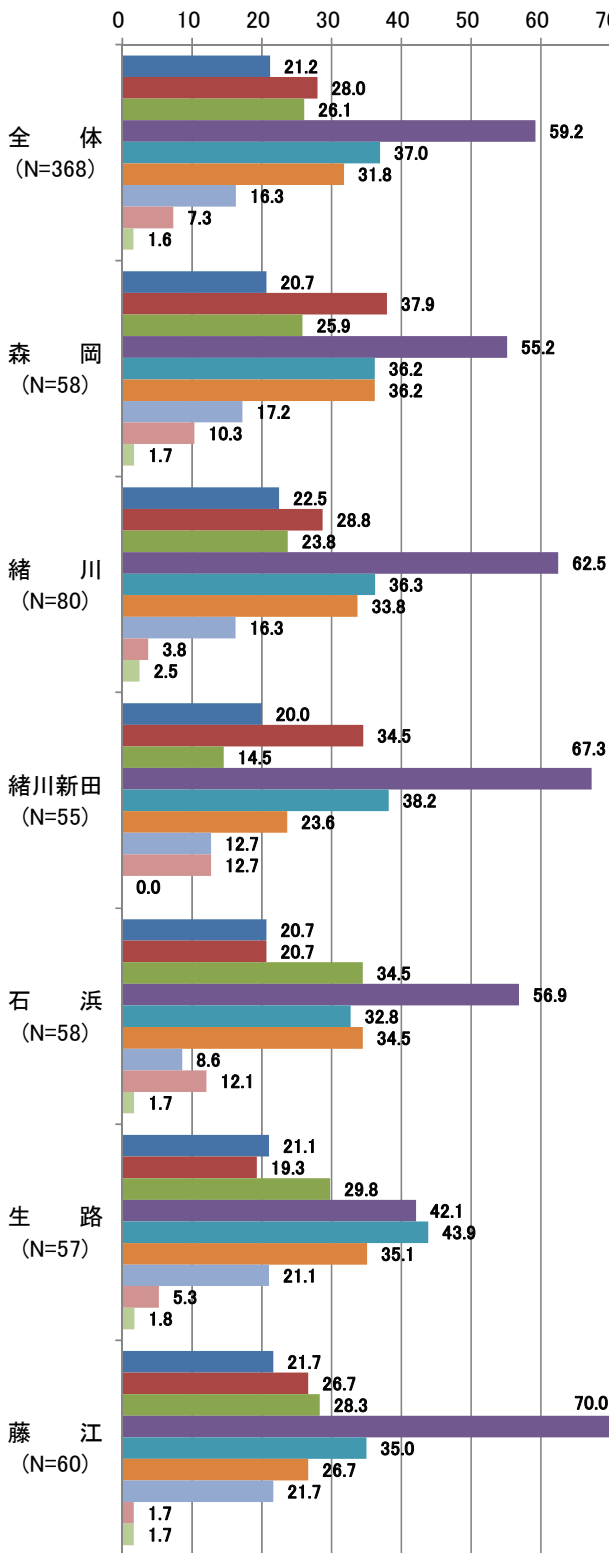
<全体>

	件数	割合
建物や看板等に対して厳格なルールを設けて、法や条例に基づき制限する	78	21.2%
建物や看板等に対して目安となる基準を示して、町民や事業者が自主的に守る	103	28.0%
多少費用が高くなっても、町の建物や道路・公園のデザインをよくする	96	26.1%
住民の一人ひとりが、自宅の周りをきれいにするように努める	218	59.2%
清掃をする、花を植えるなどの地域活動を活発にする	136	37.0%
東浦町の大切な景観を選定し、広くPRする	117	31.8%
景観に対する町民の理解や関心を高めるための講演会やイベントなどを行う	60	16.3%
その他	27	7.3%
無回答	6	1.6%
回収標本数	368	100.0%



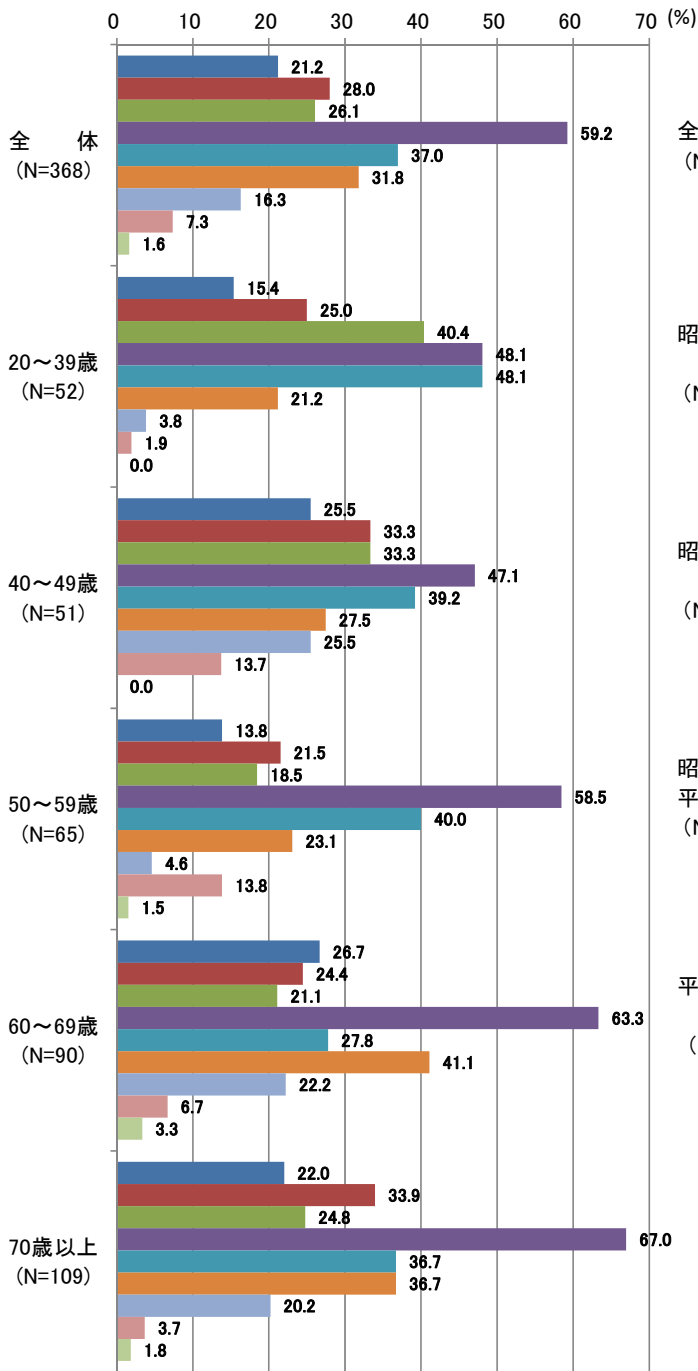
<地区別>

<性別>

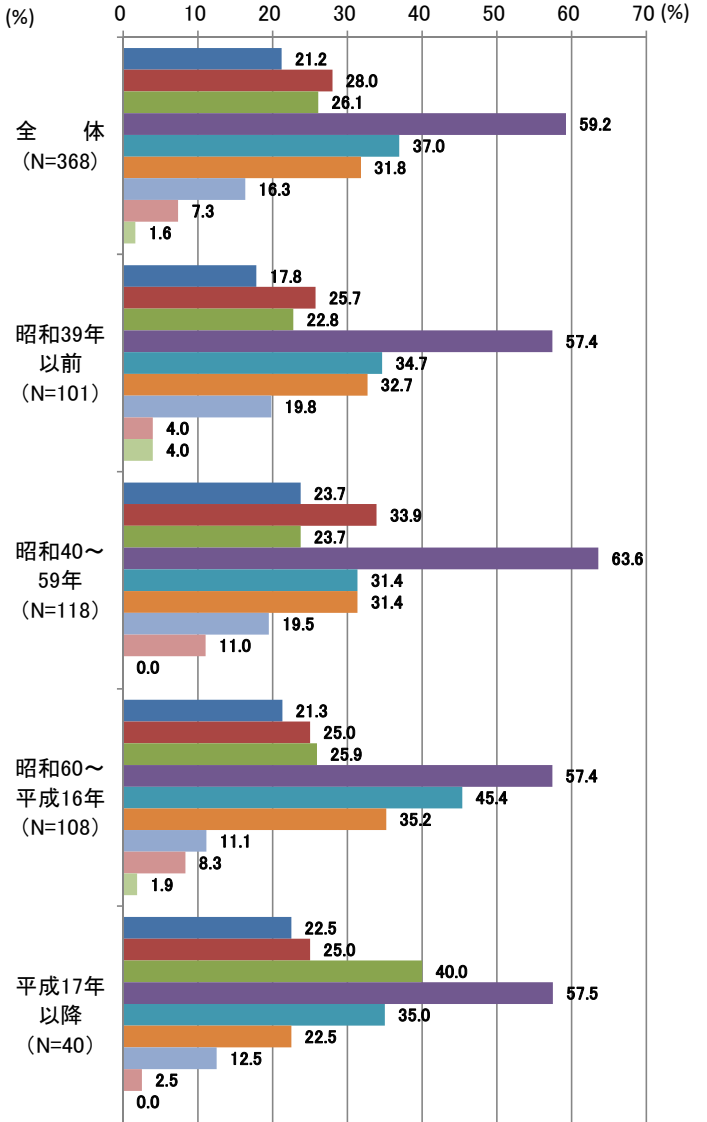


- 建物や看板等に対して厳格なルールを設けて、法や条例に基づき制限する
- 建物や看板等に対して目安となる基準を示して、町民や事業者が自主的に守る
- 多少費用が高くなっても、町の建物や道路・公園のデザインをよくする
- 住民の一人ひとりが、自宅の周りをきれいにするように努める
- 清掃をする、花を植えるなどの地域活動を活発にする
- 東浦町の大切な景観を選定し、広くPRする
- 景観に対する町民の理解や関心を高めるための講演会やイベントなどを行う
- その他
- 無回答

<年齢別>



<東浦町に住み始めた時期別>



- 建物や看板等に対して厳格なルールを設けて、法や条例に基づき制限する
- 建物や看板等に対して目安となる基準を示して、町民や事業者が自主的に守る
- 多少費用が高くなっても、町の建物や道路・公園のデザインをよくする
- 住民の一人ひとりが、自宅の周りをきれいにするように努める
- 清掃をする、花を植えるなどの地域活動を活発にする
- 東浦町の大切な景観を選定し、広くPRする
- 景観に対する町民の理解や関心を高めるための講演会やイベントなどを行う
- その他
- 無回答



【問 11】東浦町におけるあなたの「お気に入りの景観」を教えてください。(2 つまで記入)

■ぶどう畑・果樹園

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ぶどう畑</li> <li>○果樹園</li> <li>○緒川の果樹園</li> <li>○健康の森周辺のぶどう畑</li> <li>○ぶどう畑とみかん畑</li> <li>○ぶどう畑といちじく畑</li> <li>○ぶどう畑と田畑</li> <li>○ぶどう畑と牧場</li> <li>○緑豊かな田園風景とぶどう畑</li> <li>○高台から谷になっているところで果樹園や田畑が見える</li> <li>○刈谷の街並みをバックにしたぶどう畑・棚田・森林</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路から</li> <li>○両側にぶどう畑が広がる道路から</li> <li>○車で走りながら</li> <li>○農免道路から</li> <li>○北部グラウンド東の農道から</li> <li>○尾張森岡駅から健康の森に向かう途中から</li> <li>○森岡の道路から</li> <li>○鰻池から流通センターへ抜ける道から</li> <li>○東ヶ丘からセルフガソリンスタンドに向かう道沿いから</li> <li>○健康プラザから南南東方面を見て</li> <li>○大府病院から</li> <li>○森岡の高台から</li> <li>○森岡団地の尾根道から北部中学校方面を見る</li> <li>○北部中学校あたりから北を見る</li> <li>○平池台近くから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ぶどう園が広がっていてきれい。なかなかないから印象的で好き。</li> <li>○果樹園が好き。</li> <li>○夕方から夜に通ると街の明かりが、暗い畑の向こうに広がりとても美しい。</li> <li>○東浦の特産であり、多くの畑で作られていておいしい。</li> <li>○夏から秋にかけにぎやかな感じがする。</li> <li>○毎朝の通勤で見る風景で季節を感じる。</li> <li>○フランスのボルドーに行った時、同じような風景だと思った。</li> <li>○秋が深まり黄色の棚田の近景と遠方の三河の丘陵が眺められる。</li> <li>○緑がきれい。</li> <li>○広がりがあり、緑の山がある。</li> <li>○巨峰が出来ている畑は宝の山だから。</li> <li>○豊かな丘陵地で左右の風景により、何度見ても安心感がある。</li> <li>○作物が季節を感じさせてくれる。</li> <li>○部屋が甘い香りになっているのが思い出</li> <li>○のどかで散歩が楽しみ</li> <li>○のどかな里を感じることができる。</li> <li>○通学路だったから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東浦町特産のぶどうのPR</li> <li>○直売所をログハウスのような雰囲気にする。</li> <li>○宅地開発しない。住宅・工場建設の制限。高い建物や看板の規制をする。</li> <li>○農家さんに頑張って続けてほしい。</li> <li>○農家が畑を維持できるようにする。</li> <li>○町民にぶどう園への一口出資等をしてぶどう園を守る。</li> <li>○後継者育成</li> <li>○山を切り崩して宅地化しない。緑を残す。</li> <li>○季節の花木の整備。町民参加イベント開催</li> </ul>

■田畑・田園風景

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<ul style="list-style-type: none"> <li>○田んぼ</li> <li>○稲穂の生えた水田風景</li> <li>○水田の広がる景観</li> <li>○田畑</li> <li>○田んぼと菜の花畑</li> <li>○田園風景</li> <li>○石浜駅周囲の田園</li> <li>○田んぼと武豊線</li> <li>○田園と高台の住宅</li> <li>○田んぼと農道</li> <li>○県道知多東浦線からすり鉢底に見える田んぼ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大府駅から尾張森岡駅へ電車で帰ってくる時</li> <li>○尾張森岡駅から</li> <li>○石浜駅から</li> <li>○駅のホームから</li> <li>○武豊線の車窓から</li> <li>○国道 366 号バイパスから</li> <li>○道路から</li> <li>○農免道路から</li> <li>○散歩コースから</li> <li>○森岡台の南の道路から</li> <li>○森岡の間瀬ぶどう園周辺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東浦に帰ってきたと実感する。ほっとする。</li> <li>○田んぼが見えて落ち着く。癒される。</li> <li>○四季を感じる。</li> <li>○道路と畑とコンビネーションが好き。</li> <li>○のどかな風景であり、よく通った道である。</li> <li>○風が吹くと稲穂がゆれてきれい。</li> <li>○広々してのどかな所が好き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○田んぼを守る。農家を守る。</li> <li>○農業を大切にす。農家を手伝う。</li> <li>○宅地、工業地の集約化と規制</li> <li>○水田地域と住居商業地域を分ける。</li> <li>○開発をしない。工場を作らない。</li> <li>○新しい建物の制限</li> <li>○広告物を少なくする。</li> </ul>

<p>○畑と山と牧場 ○田畑とぶどう畑、大府や刈谷の街並み、遠くには山々 ○相生憩いの家から健康の森へ行く道の田畑 ○ひかりのさと周辺の田畑 ○田んぼと里山 ○田園と木々の見える景観 ○田園風景の中に曲線に続く道路と小高く広がる丘</p>	<p>○鰻池から上永見の田舎道から ○関フルーツ→池（農道）→田園→ふれあい農園→於大公園→明徳寺川沿い→図書館 ○巽ヶ丘ハイツから駐在所方面 ○西部中学校あたりから ○自分の家から</p>	<p>○田舎でありながら都心にも近く、工場・商業施設もある。 ○田園、高台、住宅が見えてとても和む。 ○農道は車がほとんど通らず、のんびり散歩ができる、菜の花や虫・カエルの声など、自然を感じられる子どもとのいい散歩道 ○近距離ながら、あまりの高低差に目を見張る。 ○いつも変わらない。 ○四季の稲の生育が気持ちよい。 ○歩いているとほっと帰ったような気持ちになる。 ○日の出が美しい。遠くまで見渡せる。 ○ワインディングロードとカントリーロード。 ○緑の中を風に吹かれて走ると気持ちが良い。 ○季節の移り変わりや緑の豊かさ。 ○絵に描きたいと思う。</p>	<p>○道路等に樹木を植える。 ○使用されていない工場等は、壊して公園等にする。 ○頑張っている農家に続けて欲しい。 ○ゴミゼロ運動できれいにする。ゴミは絶対に捨てない。 ○何もしない。 ○高層建築物や工場が建つと景色、空気、音、色、においが変わる。 ○里山を乱開発しない。 ○イチゴ園やぶどう販売小屋を残す。</p>
---	---	--	---

### ■里山・樹林等の緑

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<p>○木々や田畑などの自然 ○木や家が見える風景 ○川辺に咲く「からし菜の花」 ○緒川から知多の途中の山林 ○なだらかな坂と里山 ○色々な木々の森 ○メディカルビレッジの通りのアメリカ楓の紅葉 ○里山と田園風景 ○紅葉や新緑 ○緒川新田付近の桜、山神社からみる桜並木 ○コスモス畑 ○西部中の校舎、木々、崖、隣の小さな公園の木々 ○春は桜、秋・冬は東に山並み、西に夕日 ○高根の森 ○山や池、農道 ○アケビ等の採れた山道 ○桜の花が山一杯に満開（藤江コミセンの隣の山）</p>	<p>○あいち健康プラザ最上階から ○大府高校近くの橋から ○第一農免道路から ○県道知多東浦線から ○東浦インターから ○役場横道路から眼下に広がる ○役場下から於大公園にかけて ○明徳寺川、於大公園前の橋から西を見て ○於大公園から石浜への道から ○東浦中学校横の明徳寺川の堤防から西を眺て ○図書館から石浜三本松を経由してふじが丘に至る道から ○自然環境学習の森の舟木池から南方面を見て ○緒川新田の農協付近から ○前田クリニックに行く道から ○釜池周囲の道路から ○西部中の南西の交差点か</p>	<p>○気分がゆったりと落ち着くことができる。 ○気が滅入っている時は、本当に心が洗われる。 ○遠方まで見渡すことができる。 ○初めて東浦に着た時に目にした風景。 ○山や緑が残っている。 ○多様な木々の色の美しさ、紅葉の美しさ。 ○育った場所を思い出す。 ○東浦らしいのどかな雰囲気を感じる。 ○水辺にはトンボ、冬には水鳥、里山には昆虫・カブトムシ等が多数生息し、昔の自然が残っている。 ○子どもが小さな頃、保育園・小学校への生き返り桜の時期になるとよいところに住んだと感じた。 ○桜の咲くころは見事 ○春の桜、初夏のつつじ、崖の草の緑、公園の新緑が四季ごとに美しい。昔は散歩や遊び場だ</p>	<p>○森を守っていく。 ○あまり近代化せず、自然の状態をお金がかかっても守る。 ○整備しても自然はそのままにする。 ○街路樹、花などを植える。 ○雑草を刈る。ゴミを捨てない。 ○明徳寺川の桜並木を上流まで延長し、里山や棚田の風景を歩いて眺められるようにする。 ○自然環境学習の森のような場所をあちこちに作る。 ○竹林から雑木林に遷移、希少生物の保存 ○小学校・保育園周りの環境は変えない。 ○高根の森をもう少し手入れして、安心して観察できるようにする。 ○里山の管理・手入れ。 ○里山に子どもが入れ</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本福祉大学・有脇町辺りの緑の山</li> <li>○氏神様の森</li> <li>○目に優しい緑の風景</li> <li>○満開に咲くつつじの帯</li> <li>○役場の薄墨桜</li> <li>○緑あふれる山々</li> <li>○森の見える景観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ら</li> <li>○高根の森から</li> <li>○石浜の黒鳥から</li> <li>○石浜字蛇子連交差点から健康の森に向かう農免道路から</li> <li>○石浜西小の裏の里山の中の道を入ったところから</li> <li>○蕨橋から</li> <li>○農免道路を走る車窓から</li> <li>○道路から</li> <li>○自宅から、自宅周辺から</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>った。</li> <li>○里山・ぶどう園も近く、朝夕以外は車通りも少なく、ゆっくりと季節を感じることができる。</li> <li>○散歩道によい。安らぐ。</li> <li>○子どもの頃には山や池、うぐいすの鳴声</li> <li>○子どもの頃遊んだ思い出</li> <li>○藤江の春の景色</li> <li>○住宅地にみどりの森が見えるのが良い。</li> <li>○真夏でも涼しく感じる。</li> <li>○近くの公園が良く整備されている。</li> <li>○山里や竹林の緑が良い。</li> <li>○緑が多くほっとする。</li> <li>○桜は春をいち早く届けてくれる。</li> <li>○暑い時に木陰で休むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>る散歩道広場の整備</li> <li>○開発されそうな里山を町が買取る。</li> <li>○建物を規制する。</li> <li>○自然保護区域を設け、その区域は自然を残し手入れする。</li> <li>○桜の植樹・手入れ</li> <li>○山を切り崩して宅地化をしない。</li> <li>○崩れかかった森の縁を何とかする。</li> <li>○犬の糞の対策</li> <li>○人口増加はほどほどにする。</li> <li>○町全体のゴミを減らす。</li> <li>○竹やぶを切らない。</li> </ul>
---	---	---	---

### ■あいち健康の森

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいち健康の森</li> <li>○げんきの郷付近</li> <li>○げんきの郷に沈む夕日</li> <li>○げんきの郷からのパノラマ</li> <li>○健康の森の明るい建物</li> <li>○子供も大人も気軽に散歩、遊んでいる様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋の上から、池のほとりから</li> <li>○公園周辺の道路から</li> <li>○公園内から</li> <li>○健康の森公園のプールから</li> <li>○げんきの郷駐車場から武豊線方向を見る</li> <li>○東浦インター南の巽ハイツ付近から健康の森方面を見る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どこも美しい。四季それぞれに良い。</li> <li>○大きな池を吹き抜ける風。</li> <li>○東浦町にも立派な施設が存在する自負心。</li> <li>○広々としている。豊かな自然。</li> <li>○ウォーキング道路の景観がよい。</li> <li>○窓いっぱい赤い空、沈む夕陽が眺められる。</li> <li>○ほっとする。</li> <li>○孫の小さい頃、一緒に行った思い出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃の点検整備をしっかりとる。</li> <li>○雑草等の手入れをする。</li> <li>○高い建物や看板の規制をする。</li> <li>○小中学生の意見を聞く。</li> </ul>

### ■於大公園

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<ul style="list-style-type: none"> <li>○桜・桜並木</li> <li>○梅や桜の花見</li> <li>○八重桜、さつき、花壇</li> <li>○新緑・桜</li> <li>○吉野桜の満開トンネル</li> <li>○広がる公園</li> <li>○緑の多いところ</li> <li>○池、花、樹木、芝生</li> <li>○公園からの町のパノラマ</li> <li>○このはな館</li> <li>○手入れが行き届いた公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○於大公園から</li> <li>○公園のベンチから</li> <li>○公園の北の高台から</li> <li>○公園真ん中の広場から</li> <li>○散歩していて</li> <li>○池の周りから</li> <li>○大池の南側から北方面を見る</li> <li>○公園南入口から</li> <li>○公園北西の道路から見下ろす</li> <li>○駐車場や東側入口から</li> <li>○公園事務所から役場方面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広くてきれい。</li> <li>○両脇に植えられる桜、道の花びらの絨毯が圧巻</li> <li>○安全に散歩や子供と遊べる。</li> <li>○乗り物（自転車）で子どもが楽しく遊べ、その間大人もひろびろとしてよい風景が楽しめる。</li> <li>○手入れが行き届き、自慢できる。</li> <li>○他市町の人と花見に行っても楽しんだ思い出。</li> <li>○小学3年生の孫と散歩した思</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民、行政等一人一人が守る。</li> <li>○憩いの広場として活用でき、楽しく遊びにいけない場所にする。</li> <li>○犬の散歩等を止めさせ、みんなが安心して歩けるようにする。</li> <li>○桜の木がもう少しほしい。</li> <li>○長い吉野桜トンネルを作る。</li> <li>○少し不便さを残す。</li> </ul>

○乾坤院東側の自然景観	の坂道を観る ○役場の北側から ○石浜桜見台から	い出。 ○自然の地形を活用できている。 ○於大まつりがあり桜が美しい。 ○リラックスできる場所がある。気持ちが落ち着く。 ○野鳥や魚、亀などの水辺の波紋 ○子孫に伝承したい場所 ○転入して散策した際、住んでよかったと思った。 ○水、森、芝生が一望できる。川や水田が見える。 ○高低のある木、花のある木、草花 ○四季の変化を感じることができる。 ○プールや大きな池等。 ○お花見広場、マレットゴルフ場、緑のカーテン。	○あまり手を加えず自然のままに。 ○ボランティアやシルバーの方に協力してもらおう。 ○常日頃の点検整備を行う。 ○散歩道を整備する。 ○ずっと残していく方策を検討し、町民に広くPRする。 ○公園入口を役場付近につくる。 ○イベントにより町民の景観意識を高める。 ○図書館、クラウドを含めた再開発
-------------	--------------------------------	--	--

### ■ 明徳寺川・於大のみち

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
○明徳寺川の桜並木・八重桜 ○明徳寺川と桜並木・乾坤院と於大公園、里山の山々、相生の丘の緑 ○明徳寺川の自然 ○於大のみち ○ウォーキングコース ○於大まつりのライトアップ	○於大公園の方から ○川沿いの歩道・土手から ○川のほとりから ○東浦中学校周辺から ○東浦中学校西から西方を見る ○役場から ○うのはな館近くから。 ○坊主橋から。 ○桜見台より下を見る ○見えるところならどこでも ○遠くから	○自然がいっぱい。 ○彼岸花の植替えをやった。 ○等間隔に桜が植えられ、遠くから見ても素敵。 ○桜並木がきれい。八重桜が美しい。 ○春を感じる。 ○ウォーキングするのに良い。 ○初めて見たときにとてもきれいだと思った。 ○於大まつりがある。 ○町外からも見に来る人も多い。 ○都市化していく中で緑との調和が取れている。 ○自然を大切につくられている。 ○一日の中でも、夕日など色々な景色が見える。 ○川の蛇行、自然に調和した護岸、魚、渡り鳥など ○田、川、木、森が一望できる。 ○のどか、安堵感	○より多くの人に参加してもらい、コミュニティ活動の場として広げる。 ○於大まつりを続ける。 ○ごみをなくす。健康のためのコースとして、草刈をする。清掃する。 ○桜の季節以外も歩いて楽しい場所にする。 ○秋は彼岸花、冬は水仙の名所に ○川の浄化、桜の手入れ ○景観保全地区の設定 ○川沿いの樹木の手入れ、ウォーキングコースの管理 ○川岸にベンチを設置 ○明徳寺川の雑草刈取りを常時実施、住民ボランティア等を組織化

### ■ その他の川・ため池・海など

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
○石ヶ瀬川に砂地が見え、時々鳥がえさを探している ○川とテニスコート	○大府への踏切付近道路から ○森岡大池周辺から ○森岡駅から	○駅で電車のドアが開くと見えてきれい。 ○幻想的な感じが気に入っている。	○水は大切に作る。 ○開発も必要だが、自然と協調する考えを持つ。 ○各地区で競争する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○桜と川</li> <li>○川面全体の朝もやの情景</li> <li>○野鳥がくつろぐ川辺や池</li> <li>○ため池</li> <li>○ため池で釣り人が楽しむ</li> <li>○黒根池、新々池</li> <li>○衣浦湾にそそぐ川</li> <li>○衣浦湾・境川</li> <li>○堤防からの海沿いの風景</li> <li>○海の見える景観</li> <li>○衣浦大橋</li> <li>○藤江越し跡</li> <li>○野鳥、渡り鳥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川の堤防から</li> <li>○ため池周辺から</li> <li>○武豊線から</li> <li>○明徳寺川の河口から</li> <li>○豆搗川樋門から衣浦湾を望む</li> <li>○衣浦湾の堤防沿いから</li> <li>○藤江から緒川にかけて堤防沿いの道を自転車で見た風景</li> <li>○平成大橋などの橋から</li> <li>○東浦高校横の山から</li> <li>○神社などの高台から</li> <li>○藤江小学校から</li> <li>○東浦南部グラウンド沿いから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心が癒される。落ち着く。</li> <li>○知多半島の特徴。</li> <li>○ハゼが釣れる環境と様々な水鳥の姿が見られる。</li> <li>○鳥が遠くから来ている。渡り鳥が毎年来る。</li> <li>○子どもの頃、海を見て育った。</li> <li>○対岸の風景が楽しめる。</li> <li>○野鳥や豊かな干潟。海があり、釣りが出来る。</li> <li>○子どもの頃、散歩に行ったり遊んだ場所。</li> <li>○車も少ないため、のんびりと景色を楽しめる。</li> <li>○人がいないので広くて眺めが良い</li> <li>○貨物列車、海、橋が見える。</li> <li>○松前船のように昔を思い出す。</li> <li>○見下ろせる景色があつてよい。</li> <li>○のどか。安堵感。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ため池廻り、川を整備する。</li> <li>○堤防への自動車乗り入れの制限。</li> <li>○自転車が通れる道を整備。</li> <li>○川の水を汚さない。ゴミを捨てない。</li> <li>○境川の上流市町と協力してルールを定めて、きれいな海川にする。</li> <li>○魚釣りやウォーキングができるようにする。</li> <li>○沿岸部のゴミ清掃、不法投棄撤去。</li> <li>○清掃・補修活動をしながら維持。</li> <li>○このままでよい。</li> <li>○工場排水等の要検査</li> </ul>
--	---	--	---

### ■神社仏閣、史跡、古い町並みなど

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<ul style="list-style-type: none"> <li>○神社と寺院</li> <li>○村木神社、村木砦跡</li> <li>○入海神社のおまんと</li> <li>○入海神社・了願寺・東光寺・傳宗院の隣接社寺群</li> <li>○狭い路地の中にある寺</li> <li>○寺や神社の鎮守の森</li> <li>○古い町並みと寺・神社</li> <li>○乾坤院、乾坤院の伝通院墓</li> <li>○山神社、天王祭（7月）</li> <li>○大楠の森（伊久智神社）</li> <li>○藤江神社前の大木と常夜燈</li> <li>○白雪稻荷のある風景</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路側から</li> <li>○神社の境内に立って</li> <li>○中町公園から見下す</li> <li>○刈谷から緒川の町並みを見る</li> <li>○大府半田線の西側の道路から</li> <li>○門前から奥の院へのみちから</li> <li>○駐車場から乾坤院を見上げる</li> <li>○外の参道から内部を見る</li> <li>○高台に上ってみて</li> <li>○須賀川から</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○樹木、花の咲く季節</li> <li>○高台からの風景</li> <li>○昔は露店がでていた。</li> <li>○入海神社の静粛さと巨木</li> <li>○歴史の尊さと先祖の努力・苦労がしのばれる。</li> <li>○昔ながらの仕出し屋などほっとする景観</li> <li>○日常の騒々しさがなく、今も昔も変わっていない。</li> <li>○東浦町になって初めて訪れた名所が乾坤院</li> <li>○乾坤院は於大まつりの時に寄って、お茶を飲む。</li> <li>○家康の墓などと同じく他に例を見ない。</li> <li>○現在、氏子で清掃行事を行っている。</li> <li>○氏子と子ども会の提灯が山の形から燃えて落ちるのを子どもの頃から見てきた。</li> <li>○心が落ち着く。</li> <li>○小学校への登下校を毎日見守ってくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○可能な範囲で当時を想像出来るようにする。</li> <li>○高層マンションなどの建設を制限</li> <li>○町民の誇りとなるよう努力する。</li> <li>○東浦町全体で文化遺産の維持・保全活動をし、必要であれば募金を募る。</li> <li>○今のままきれいにする。</li> <li>○手を入れない。</li> <li>○水の流れの整備、池の浄化</li> <li>○乾坤院と協働で、荒れ果てた感じをなくし、おもてなし気分を出す。</li> <li>○コミュニティ活動を活発化し美化活動を行う。実施実績に応じ補助する。</li> </ul>

### ■眺望や夜景など

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<ul style="list-style-type: none"> <li>○近隣が一望できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康プラザレストランか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冬だと南アルプスや御嶽山</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緑を絶やささない。</li> </ul>

<p>○対岸の刈谷や高浜を眺望 ○東浦の街並みの奥に刈谷の工場・マンション群、その奥に山々が見える ○刈谷と緒川を一望 ○緒川のまち・町並み ○刈谷と川 ○武豊線方向を広く見渡せる ○緒川駅周辺と刈谷衣浦方面が見渡せる ○田畑と川と遠く三河 ○衣浦方面が見える ○藤江の町並み ○眼下の畑、住宅や工場の屋根、衣浦用水路の船、その奥に高浜方面の丘陵地や山 ○夜景 ○花火が見える景観 ○朝日が昇る風景 ○夕日 ○山、空、遠方 ○遠くの山々が見渡せる。 ○御嶽山 ○遠くに名古屋駅ビルと御岳</p>	<p>ら ○森岡台付近の道路から ○森岡小学校の坂を下る途中 ○森岡団地から ○森岡のぶどう園通りから ○役場の高台から ○善導寺などの高台から ○緒川駅の上りホームから ○於大公園から ○平池台から石浜の辺りを見る ○町体育館・町営グラウンドから ○藤江白雪稲荷から見下ろす ○わらび橋から藤江小を見る ○藤江付近の農免道路付近から ○自宅から ○大きなビルの屋上から ○役場から上の一つ目の交差点 ○農免道路東側の丘陵地から ○堤防から ○上高根の坂の上から東を望む ○中央図書館付近の橋の上から ○西部中学校側から見る。 ○東浦インター交差点から100m南進して左折(北鶴根) ○バイパス東側の田んぼ道から</p>	<p>もきれい ○年に数回、富士山が見える。 ○雨上がりの日は眺望がくつきり、翌日が雨の日は霞がかつたよう。天気予報ができる。 ○半島らしい丘と刈谷が河川敷を伴って見られる。 ○帰ってくると、町が見えて気持ちいい。 ○見渡せる感じがよい。 ○緒川の丘が見渡せ、集落の住宅、神社仏閣、森、役場、小学校など町の全容が見られる。 ○目の前に広がる空間の気持ちよさ ○流星や初日の出を見ることが出来る。 ○眺めが良くきれい。高台からの眺めが良い。 ○秋の午後が好き。 ○少し高台で、途中に大きな建物がなく、夏には岡崎の花火も見られる。冬場の日の出も良い。 ○仕事から疲れて帰ると大府方面の景色がきれい。 ○夜に車で通るとききれい。 ○街の夜景がきれいに見えるところはない。 ○夏には刈谷、高浜方面に花火が見える。 ○毎日散歩しているので良く分かる。 ○夏の4～5時ごろの朝ぼらけがよい。 ○夕日を見ながらのんびりした時間が過ごせる。 ○遠いところを見ると心が落ち着く。 ○天気の良い日に車で走ると、透きとおった景観 ○あまり知られてなく、天気の良い春に見に行く。</p>	<p>○道路看板などを規制する。 ○変な施設を作らない。 ○庁舎の移転を計画する。 ○公園等の緑を守りつつ、町をきれいにする。商業施設がつぶれないようにし、魅力的なベッドタウンにする。 ○高い建築物を建てない。 ○広告看板を規制 ○緒川駅西側に眺望をさえぎるような建物が建てない。 ○高台には低い建物しか建てられないように規制する。 ○工業地にしない。 ○公園等風景が楽しめる場所づくり ○草刈やフェンス修繕 ○展望台の設置 ○宅地開発を止める。 ○現状と発展、新と旧を調和させる。 ○各地区集合サミットの開催。 ○町民が心を一つにする。 ○看板ネオンのない静かな住宅街に ○産廃業者などを入れない。</p>
---	--	---	--

■商業施設・工業施設など

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
<p>○イオン ○イオン周辺の町の景色 ○図書館やイオン・JR ○イオン周辺の看板、明かり ○にぎやかな風景 ○国道 366 号南の夜間は照明が建物全体を包む風</p>	<p>○自宅、マンションから ○役場の辺りから ○於大公園の入口から ○郷土資料館から東を見る ○緒川駅のプラットホームから ○刈谷側からイオンを望む ○平成大橋から</p>	<p>○町の中心が見えるから ○活気のある街であると感じる。 ○帰ってきた感じがする。 ○暗い中に浮かび上がる多数の光がにぎやか ○以前は田畑しかなかったが、町で一番発展した地域であり、</p>	<p>○沿道に積極的な商店を誘致 ○大きなマンションやビルを建てすぎない。 ○そのまま ○積極的な企業誘致活動と環境美化 ○ゴミをみんなが意識</p>

景 ○商業施設・工場等の景観 ○藤江・森岡工業団地 ○森岡工業団地のクリスマスイルミネーション	○平成大橋から北西を見る ○平戸橋辺りから ○国道 366 号バイパスから	活気ある町にしていきたい。 ○周りが暗いためひときわ目立つ。	して捨てない。 ○商業・企業を誘致 ○積極的な工場誘致
--	---	-----------------------------------	-----------------------------------

### ■JR武豊線・駅周辺など

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
○武豊線 ○尾張森岡駅から大府駅に、長い編成のディーゼルカーがゆっくり走り出す風景 ○石ヶ瀬川を渡る武豊線 ○武豊線を走った SL ○東浦駅 ○武豊線の駅周辺 ○電車、ホームが見える景観	○大府方面から ○昭和 55 年頃に森岡小学校の窓から眺めた ○森岡のアンティーク辺りから ○緒川駅の高架橋の間から ○東浦中学校の川の土手から ○三丁公園から ○武豊線沿線全般から ○駅の傍らから	○田舎に帰ってきた感じ ○昔の記憶が呼び起こされる。 ○銀河鉄道の夜を連想 ○小さい頃、引っ越してきた風景 ○記念の SL 列車が自分の身近で見られた。 ○車窓から住宅、農業、工業の 3 つが見える。 ○いかにもローカル ○長年の歴史を感じる。 ○ポーっとして心が安らぐ。	○高層マンションを建設しない。 ○夜周囲が明るくなりすぎない。 ○眺望をさえぎる建物がない。 ○沿線に住宅などを建てすぎない。 ○鉄道線路を保存しつつ、周辺の開発を進める。

### ■道路など

何が見える	どこから見た	お気に入りの理由・思い出	どうすべきか
○道路 ○石浜から相生への農免道路 ○健康の森横の道路の街路樹 ○緑の多い街路 ○厄松公園と周りの桜道	○車運転中 ○健康の森前道路から北を望む ○歩ける道から ○郵便局から東浦高校の道から	○勾配があり特徴的 ○緑が多く気持ちよい、桜が咲く時期は綺麗 ○電柱もなく、街路樹もありすっきりとした景観 ○休日に何も気にせず歩く。 ○庭や生垣を見て、花や若芽、虫などを見られる。	○安全上からも道路の整備が必要 ○新規開発地区は電線等の地下埋設 ○東西方面を考えた区画整備 ○防災を考慮した広い道路 ○厄松池周りに芝桜を植えて名所に

御岳

三河の山なみ

名古屋駅方面

刈谷方向

高浜方向

-  ぶどう畑・果樹園
-  山林・里山
-  田・畑
-  主な公園・遊歩道
-  川・ため池・海
-  社寺・史跡・町並みなど
-  店舗・工場・鉄道・道路など
-  その他の眺望対象
-  眺望点の場所・道路等



0 1km

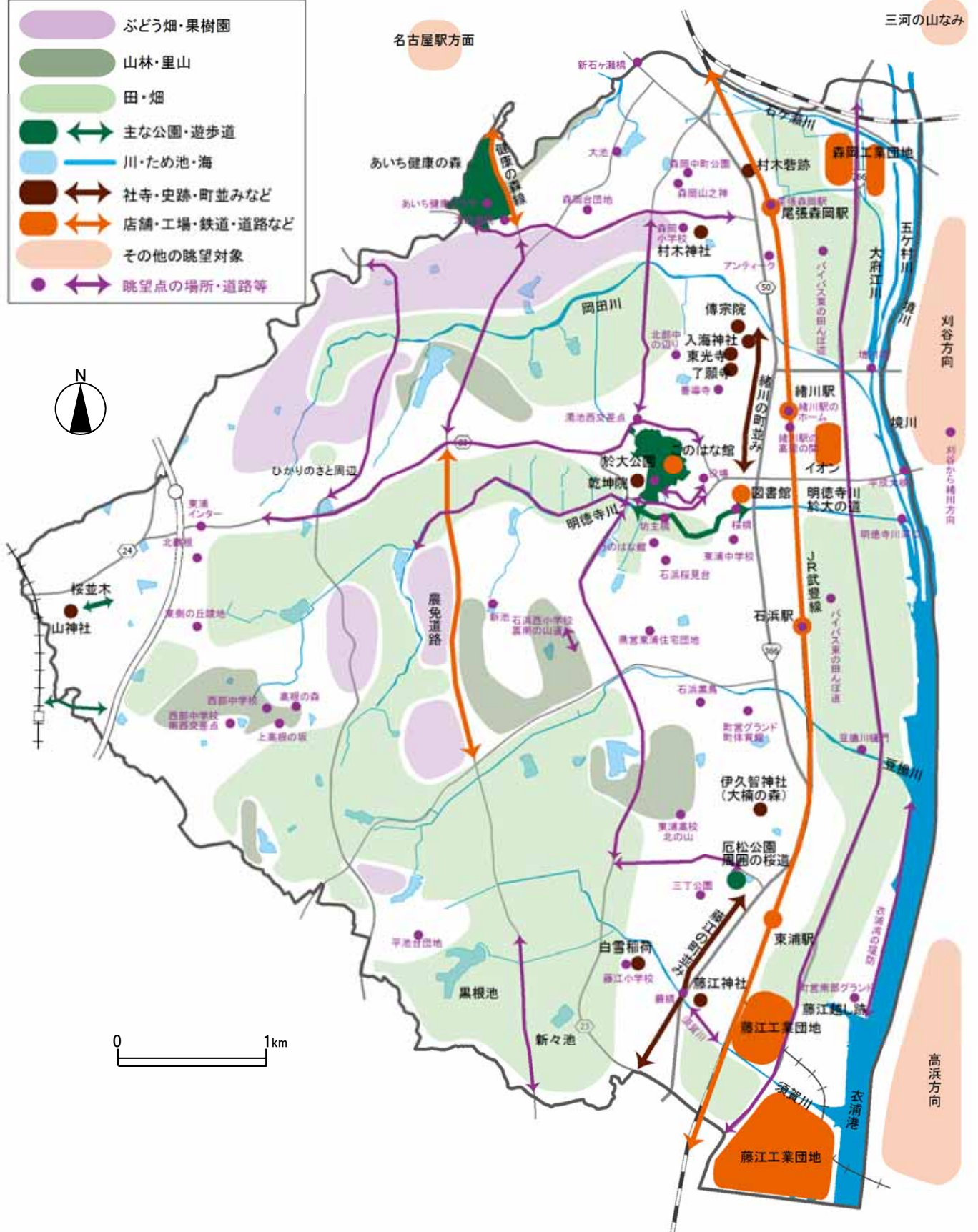


図. アンケート調査による「お気に入りの景観」



**【問 12】 景観まちづくりに向けて、ご意見がありましたらお書きください。**

**■緑・自然・公園について**

- 雑木林も手入れされなければ、邪魔で汚くみえてしまう。
- 人口を増やすことを中心に考えない。農業や緑化に力を注いでいく。
- 高根の森の整備と活性化
- 自然との距離が身近に感じる景観づくり、保全と整備が重要。
- 緑豊かな自然を残してほしい。
- 緑豊かな町を作り続けてほしい。
- 放地した田畑に雑草が生えて、荒地となっている場所が良くない。
- 桜並木を作る。
- 住民一人一人に少しずつ住民税以外を課し自然整備に使用する。自然を守るにはお金が必要。
- 田舎の自然の多いまちづくりを進めてほしい。
- 緑を上手に残し、次の世代の宝とする。緑は大切だが、生垣が道路に出て歩行者が歩きづらくないようにする。
- 散歩の出来る緑いっぱいの小路をつくり、途中休憩できるように整備して、年寄りがみんな安心して歩けるようにしてほしい。
- 工場地帯にはせず、適度な自然を残してほしい。野鳥、虫など子供の興味のあるものなど自然破壊されない状態で次世代に残してほしい。
- 色々な花が咲いている場所は、そこを通るだけで癒される。
- 東浦は自然が多く残っている所が、近隣市町と違うところである。
- 道路にはねられた動物を良く見る。自然が残っている証拠である。こうした動物が住める場所を残す。
- 町ぐるみで花壇の世話をすることにより、景観が良くなるとともに人の交流が生まれ治安もよくなる。
- 幹線道路沿いの工場・コンビニと、一歩外れると田園風景のキープ。統制の取れた宅地化。メリハリのついたまちづくり。高根山に見晴台が出来ないか。西部グラウンドの大型スポーツ公園化する。
- 水田、畑、山林、果樹園を減らさない。無理な開発をせず、自然を尊重する。
- 今ある緑の自然を減らさないでほしい。なくすなら新しく緑を作っていくことをしてほしい。
- 緑化をして空気の良い町が好ましい。
- 石浜飛山池の遊歩道を早く周回できるようにしてほしい。
- 海、川、田、丘陵地につながる風景が残していけたらよい。
- ぶどう畑、酒蔵を残して欲しい。
- 今ある農業と畜産の地域の景観も守って欲しい。
- 昔の思い出がよみがえる自然を保存した行政を行って欲しい。
- 石浜の竹林、田んぼが広がる風景が好きだったが、住宅地となってしまっただけ残念。適度に自然を守りながら、整備を行って欲しい。
- 水田、畑、果樹園が広がる田園があり、トンボ、蝉、カエルが鳴く緑豊かな自然を感じる景観は、お金では買えない東浦町の財産だと思う。
- 小学生(低学年)が花や野菜を種や苗から育てているが、授業で育てた苗を各家庭に配り、町ぐるみで歩道や庭先で草花を育てたら、景観もよく、ウォーキングも楽しくなる。
- 森、竹林がうっそうと茂っているところが怖く、近くを歩けない。
- 休耕地対策をする。

**■於大公園・その他の公園について**

- 緑を守ること。自慢できる公園を増やす。
- 自然環境学習の森等、自然の豊かさを感じられる景観の推進の計画・検討を進めてほしい。
- 庁舎の移転を計画し、於大公園を拡大して、自然に人々が集まるようにする。
- 於大公園は町の大きな宝である。
- 於大まつりに花を添える八重桜も良いが日本人が一番好むソメイヨシノの名所があると良い。
- 於大公園をもっと自然な形で残してほしい。
- 於大公園等は夜間照明がなく、防犯面が不安なので必要最小限の照明をつける。
- 於大公園の玄関口が殺風景なので、人をひきつけるような建造物を作ってはどうか。
- 池及び芝生のある於大公園規模の公園がもう一つ欲しい。
- あいち健康の森があるので良いのでは。
- 高齢者は遠くへいけないので、小さな広場か公園が近くにあると良い。

## ■川・ため池について

- 小川はメダカがすめるくらいにきれいにしてほしい。
- 川も浅くてよいかからきれいな水が流れ、魚が泳ぐ姿が観たいです。
- ため池で釣りができたり、ベンチ等を設け安らげるようにする。

## ■神社・仏閣などの歴史的資産について

- 昔からあるものを大切にアピールすべき。
- 神社仏閣のパワースポットを探す。
- 歴史遺産を大切にし、人を呼ぶことの出来る存在に出来たらよい。
- 少し由緒ある神社仏閣・土塀・蔵等を選択し、町が補助金を出し、見栄え良く（周辺も含め）修理したらよいのではないかと。完成した物件に番号をつけ、地元の人・観光客が楽しめるように。道路もなるべくしゃれた並木道にする。
- 知多半島のほかの市町より多くの歴史を有しているので、史跡、神社仏閣を大事に保存していく。郷土資料館をもっと上手に活用する。
- 町の史跡の説明看板の整備。
- 地元の神社等を大切にしたい。
- 緒川の旧道は、江戸時代に名古屋城へ赴任したお殿様が知多半島を視察するため通った道であるそうだ。歴史の事実を記録し伝え残す努力をしてほしい。

## ■道路について

- 道路脇の植木の手入れができないなら、半田市のように針葉樹1本ずつにして景観を守る。
- 生垣が敷地からはみ出しているのを、剪定をしっかりする。
- 田舎の良さを残して、道路には街路樹、歩道等も広くゆったりとした町、広々とした町、住んでいて気持ちのいい町づくりをすると良いと思う。今は近隣市町と変わらない。海外のまちづくりを取り入れたら良いと思う。
- 国道366号整備を行い、街路樹を植え安全な美しい道路を作って欲しい。
- メイン道路を拡幅し街路樹を植える。
- 電柱の地中化。
- 役場付近の電柱のように茶色く着色するなど歴史ある上品な風景にしてほしい。
- 公園、住宅内に電柱のない町を計画してはどうか。歩道設置を行う。
- 歩道の管理強化（レンガのはがれと雑草の手入れ等）
- 町道の維持を徹底する。
- 夜の道が暗いので何とかしてほしい。
- 道路の整地をする。
- 景観も大切だが、道路の整備や歩道をしっかり整備して欲しい。バスの本数も増やして欲しい。新田地区に大きなスーパーが必要。
- 道路拡幅の計画を。
- 道路が狭く、これといって景観の良いところがない。
- 街灯なども味気ないものでなく、東浦の特産品などをモチーフにしたものにしては。

## ■建築物・広告物などについて

- 高層マンションを国道366号沿いに建設しない。
- 住宅の中に高層マンションが出来るのはいい気がしない。
- 公共建築物にシンボリックな印象に残るものが欲しい。公共建築物に草花が少なく淋しい。
- 図書館のデザインは田舎の中でスタイリッシュな感じがして良い。
- 県営団地内の景観をよくしてもらいたい。
- 東浦町の公共施設は多くが老朽化しているので、統合を含めて新設など計画してはどうか。
- あまり建物のビル化などの近代化は好まない。
- 箱物をつくるのをやめる。
- 新興宗教施設はのどかな里の風景にそぐわない。
- 看板の基準を設ける。
- 区画整理の住宅地区の建物の高さがばらばらである。
- けばけばしい広告等を作らせない。

## ■土地利用について

- 工場やパチンコ屋が建つことは、町の発展としてはうれしいが、景観としてはあまりよくないと思う。
- 東浦駅東側の工場跡は印象が良くない。
- 東浦駅東側の廃工場を整理すると安全安心の住居群が広くなり、駅の活性化が望まれる。
- 荒れた土地が多いので、調整区域に家が建てられるようなれば整備され美しくなる。また、町の発展にもなる。
- コンビニが乱立しないように規制すべき。
- 住宅地、商用地、農地（山川、自然を含む）のバランスが良く残ることが大切であると思う。これらは人が守り育てていくもの。
- まちづくりは、昔からある地区や新興住宅地など、年代もばらばらで一貫したものは難しいと思うが、町として方向性（景観、街路樹、工業・商業の各地区の棲み分け、公園、官公庁の建物の美しさ）は、ある程度、同じものを持たせたほうが良いと思う。役場なども建替えるなら、周りの自然とこれからの東浦を考えてあまりモダンすぎないものがよい。
- 商業施設の繁栄。
- 商業施設を増やし活気のある街にし、出かけたと思わせる。
- 西側地区…田園、川、公園がある所の現状維持。中央地区…公園維持整備、町施設が集中しており、改善と維持が必要。東側地区…商業地区であり、相応の景観が必要と思うが、派手にならぬよう注意。
- どこが街の中心であるか不明であり、活気を感じることが出来ない。アクセントをつけたまちづくり（アピールできる）が必要であると思います。
- 商業施設と住宅地をしっかりと分ける。
- 公共施設や工場、住宅を計画的に作る。
- 新たな土地を開発するよりも、今までのものを上手に利用し新しい工場や住宅を作って欲しい。

## ■ごみ・不法投棄・草刈り・空き家などについて

- 各自宅周囲の歩道、並木の草の手入れ、ゴミ拾いをする。特別なことをせず、一人一人の「きれいな美しい東浦」への思いがすべてであると思う。
- ベンチやゴミ箱の増設。
- 名古屋から東浦に引っ越してきたが、自然が豊かで高い建物もなくすごくほっとする。今のままでも十分だが、道路に落ちている犬の糞やゴミが散らかっているものを、住民一人一人がきれいにすることが重要だと思う。
- ゴミステーションは廃止する方向で進めたほうがよい。
- 道や公園をきれいにしてほしい。今あるものを大切に作る。
- ごみ出しのマナーを守る。
- ゴミステーション周辺のゴミが気になる。
- ゴミ、雑草のない町。自己所有地周辺は自分できれいにする。
- 住民の自主的な行動を第一に考える、空き家対策、犬の糞をなくす。道路脇の草刈を行い、街路樹をこまめに手入れする。
- 発展も必要だが、住みよい町にしてほしい。草が伸び放題の空き家を何とかしてほしい。
- 道路の雑草を刈る。
- 通学路の雑草をきれいにしてほしい。安全面も大事。
- 道路整備と雑草を刈る。
- 竹林を何とかする。田畑地主に定期的に町から注意して草刈をさせる。
- 住宅の垣根・枝が道路に出ているので歩くときに目に入る。危険なので見回りをしてほしい。住宅地区の人にやさしい環境と地域づくりをしてほしい。
- 除草作業を行う。
- 遊休の土地で雑草が生い茂っているところが多くあり、見通しも悪く、防犯上良くないので、手入れしてほしい。
- 空き地の雑草がひどいので、管理している人に呼びかけてほしい。景観よりも町民一人一人のマナーや行動のほうが先であると思う。いくらお金をかけても住んでいる人が同じだと何も変わらない。
- 産業廃棄物処理場は早急になくすべきである。
- 産業廃棄物を何とかし、それから景観を考える。

## ■観光との連携、東浦のアピールについて

- 東浦の自慢できることを作りPRする。
- アンケート結果によりPRをかねてデザインした看板を設置して町内外の人に町の良いところを知らせる。
- 特産品、景観を整備して体的にアピールすることも必要である。のどかなやすらぎ景観、街並みは末永く残してもらいたい。
- 役場周辺の川や公園などは整備されているが、森岡は手付かずである。観光客の多い健康の森を中心とした開発が必要である。花を眺めながらウォーキングすることの出来る「花と長寿の町」を目指す。
- 景観計画の中で「観光ガイドブック」の検討をする。
- 於大まつりをもっと活気あるものにする。
- 巨峰を全面的に押し出す。
- 景観だけでは人は集まらないので、ぶどうを売りにしたスイーツの店等を同時に作り、そこから公園にいけるように公園を整備する。
- 活気のある町とするために、祭礼等の行事を何年かに一度、町全体で行うようなイベントを行い活性化していきたい。
- 各地区の景観地（皆が推挙した所）を、ふるさとガイド協会とタイアップして、コース内に入れられると良い。
- 景観を活かしたまちづくりには、大人から子どもまで巻き込んだ企画が有効かと思う。自分たちの街に興味を持ち、素晴らしい部分を発見し、誇りを持つことが景観を活かしたまちづくりのベースになると考えるからです。大学の建築学科に呼びかけて学生の設計課題に取り上げてもらう。

## ■景観づくりのビジョン・方向性・その他について

- 孫に語り継げる景観づくりを行う。
- せかせかした時間から開放されるような空間を演出できるまちづくりを行ってもらいたい。
- 現在の景観を保つ。
- 清潔感が大切
- 住民の意識改革をする。
- 昔から住む人、これから住む人が一つでも思い出のある町としてほしい。
- 住民一人一人が出来ることをやるという意識を持たせる。
- 子どもからお年寄りまで楽しめる場所を作る。東浦珍百景の選定と活発化。景観を悪くしているところの洗い出しと原因追求し、支援する。
- 景観については所有者もあることなので、単年度のまちづくりではなく、腰をすえて考えてもらいたい。
- この町に着てホッと出来る景観を。
- 町のオリジナルなものが徐々に増えていくことを望む。若者のアイデアを取り入れる。
- 日常の身近なところの景観づくりに向かい、維持していくことが大事だと思う。
- 景観のあるまちに対し、積極的に協力したい。
- 都会過ぎず、田舎すぎないところが良い。
- 素朴な町でいい。清潔な町にする。
- 景観は大変難しい。今思うことは、まずは自分の家の周りを観てどう感じているのかということ。私は、この風景が嫌いではなく、むしろ好きかもしれない。こういう気持ちを大事にしていきたい。
- 農業離れで土地が荒れた状態にならないようにする。参加型のイベントを開催し関心を持って訪れてもらうきっかけを作る。
- ボランティアを募り、みんなで美しい町にする。
- 景観を変えても何も変わらない。
- 子育てしやすい町、老人に優しいまちづくりを目指すのであれば、町内のどこを走っても歩いてもきれいな町、外から帰ってきてホッと出来る景観、住民一人一人にわが町をきれいにするという気持ちを持ってもらえるようなイベントを計画してもらい。
- 田畑、木々の緑のある町。神社や史跡のある歴史のある町。みんなが安心して笑顔で住める町。東浦のよいところはずっと残して生きたい。
- 交通アクセス、住環境を良くして欲しい。町の面積は広いので、自然はそのまま残したいと思います。役所は適切な線引きをしてください。
- 工場誘致をせず、現在ある里山、ため池、川や田畑を自然のまま保持・保全するようにしっかりとした施策を作ってください。植樹で緑を増やし、東浦町全体が自然公園の中にある様な景観づくりをしてください。景観発見プログラムなど楽しいイベントで町民の意向を反映させてはどうか。

- 他県から引っ越してきた者として感じることは、東浦町にはこれといった特徴はなく、面白みのない町だということ。身近な街路樹等は心を癒すので、そうしたものを増やすことからはじめてもらいたい。東浦町ならではの特徴づけを考えていただき自然と人が集まる場所にしてほしい。
- 若者が出て行かない町にする。
- 子孫まで住みやすい東浦にしてほしい。地区密着の仕事が年代限らずあると名古屋市内に出ることなく、東浦の利益になる働ける場所を作って欲しい。
- 物騒な町にしないようにする。
- 年寄りの遊ぶところがない。
- 東浦町は、特徴のないところでさびしい。
- 東浦町に引っ越してきて水道水のまずさに驚いた。水がおいしくなってくれたらうれしい。
- 電車バス、その公共交通を増やしてほしい。
- 人が住んでいる町中にバス停を作り、人の交流を増やす。
- 山や自然を開発するときは、事前に説明会や住民投票などを行ってほしい。
- アンケートを数年に1回実施して、検討資料を集めて実行していくと良いと思います。
- 意見（景観）を聞いたものをオープンにすること。
- 観光協会のように法人格のある集団で企画立案する。
- 町議会議員が積極的に地域内において活動し、町民の意見を聞く。

## 参考資料2. 住民ワークショップの概要と結果

### <ワークショップの趣旨>

住民のみなさんとともに、東浦町の資源となる景観を見つけて、分析することにより、景観形成の基本方針を検討するために開催しました。

### <5回のワークショップの内容>

第1回	8月23日(金) 午後1時~5時	東浦町景観計画策定の概要説明 先進事例視察(半田市岩滑地区・半田運河地区) ※半田市職員の説明を聞きながら現地をみる。
講演会	9月7日(土) 午後1時30分~3時	東浦町景観づくり講演会 (仮題)景観づくりとまちづくり 岐阜大学 出村 嘉史 准教授
第2回	9月14日(土) 午前10時~12時	景観計画とは、景観の見方・捉え方(ミニ講座) 東浦町のよい景観・守るべき景観を探す。 ※地図・航空写真・資料を見ながら議論する。 ※第3回の現地調査のルートを考える。
第3回	10月5日(土) 午前10時~12時	景観を現場で確認する。 ※第2回で探した景観を現場で見る。 ※写真撮影、地図上に記録を残す。
第4回	10月26日(土) 午前10時~12時	景観資源マップを作成する。 ※よい景観・守るべき景観を地図に表現する。 ※アンケート結果やこれまでに議論による景観資源マップをもとに議論する。
第5回	11月30日(土) 午前10時~12時	東浦町の景観形成の基本方針を考える。 ※どのような景観を守り・育てるか。 ※住民として景観形成のために何をすべきか。

### <ワークショップの進め方>

- 2グループに分かれて議論・検討を行いました。
- 各グループにファシリテーターがついて、住民のみなさんの話し合いを整理しました。
- 各回の最後に、グループごとの話し合いの成果を発表しあいました。

<第1回ワークショップの結果> (ワークショップだより)

# 東浦町景観計画策定の ワークショップだより



Vol.1(平成25年8月) 発行:東浦町建設部都市計画課

## 第1回ワークショップ ～半田市先進地視察～ を開催しました

身体にこたえる猛暑もようやく一段落しそうですが、いかがお過ごしでしょうか。

東浦町では、今年度と来年度の2ヶ年で、東浦町らしい景観を守り・育て・活かすための景観計画を策定していますが、その検討の場として町民ワークショップを設置し、各地区コミュニティ代表の6名と公募による6名の、あわせて12人でスタートしました。

8月23日(金)に第1回ワークショップが行われ、景観の取組みの先進地である半田市の半田運河周辺地区及び岩滑地区を視察しました。

- ①まずは、役場に集合。景観計画の策定やワークショップの開催主旨の説明を町から聞き、お互いに自己紹介しました。



- ②半田市役所に到着。半田市の担当の方から、半田市景観計画の策定の経緯や内容を丁寧に説明していただきました。

- ③景観形成重点地区のひとつである半田運河周辺地区を視察しました。運河と黒壁の蔵、町屋風の建物のまち並みを基本としたルールが設定されています。



- ④運河沿いの蔵や工場は、ルールに基づく建替えが進んでいました。まち並みの中の古い建物は、観光客向けの案内所として利用されていました。

⑤続いて、もう一つの景観形成重点地区の岩滑地区を視察しました。岩滑は新美南吉が生まれ育った地区であり、南吉童話にもその風景が描かれています。



⑥岩滑地区には農村集落の趣きを保全するためのルールが設定されています。市民にルールを理解してもらうための苦労や課題について、半田市の方が教えてくれました。

⑦とても暑い中での視察でしたので、みなさんお疲れぎみでしたが、帰りのバスの中では、視察の感想やワークショップへの期待などを書いていただき、無事終了しました。



#### ＜ワークショップ参加者のみなさんによる視察の感想（抜粋）＞

- 半田市の方の説明で景観形成のイメージがわかった。景観は長い年月がかかると思った。
- 半田市の方が理想と現実の厳しさも話してもらえて参考になった。
- 話題の場所を見学できてよかった。
- 特定のエリアに限定して計画を作成するのもよいと思った。
- 景観づくりは非常に難しい。地区指定しても守られないことがあるようだ。
- 景観を損なわない建物をどうやって建ててもらおうかということが大変だと思った。
- 「景観のあるべき姿」を過去に考えたことがなく、どんな点が問題なのかまだよく判らない。
- 権利の制限と個人の自由の範囲がむずかしいと思う。

#### ＜今後の予定＞

**【景観講演会】9月7日（土曜日） 13時30分から15時**

**勤労福祉会館 会議室C**

**「景観と私たちの暮らし」 岐阜大学准教授 出村嘉史さん**

**【第2回ワークショップ】9月14日（土曜日） 10時から12時**

**東満町役場 西会議室1**

**「東満町のよい景観・守るべき景観を探す」**





# 景観講演会開催報告



平成 25 年 9 月 発行:東浦町建設部都市計画課

## 景観講演会「景観と私たちの暮らし」を開催しました。

東浦町名産のぶどうの出荷が最盛期を迎えていますが、いかがお過ごしでしょうか。住民の皆さんに景観への関心を持っていただくため、9月7日（土）に勤労福祉会館で、岐阜大学工学部准教授の出村嘉史さんをお招きして、景観講演会を開催しました。

①講演会は、神谷町長のあいさつからはじまりました。東浦町には特別な史跡や町並みがある訳ではないが、町内に入ると「何かが違う」と感じるまちにしたい。そのためには町が景観を決めるのではなく、住民の皆さんが考えてほしい、という話がありました。



②続いて、出村先生の講演、演題は「景観と私たちの暮らし」。講演では「景観とは何か、なぜ景観か」「公共、共有という考え方」「私たちの居場所について」「ここで豊かに暮らすために」という内容をお話いただきました。日本や海外の事例、東浦町の写真も使って、とてもわかりやすい講演でした。景観づくりのヒントとして、下記の事をお話いただきました。



- 次世代に生き残るための町の風景をつくる。
- すでにある資源を資本に、いかに暮らすか、意思を示す。
- どこから何をみるかを考える。（視点場と視対象）
- 人の居場所はどこにあるかを考える。
- 人はどこを歩くのかを考える。

③講演の後に、参加者の皆さんとの意見交換、質疑応答がありました。景観計画の策定の意義、計画策定のプロセスの大切さ、東浦町の景観における農地や農業の大切さなどの意見交換がされました。



＜第2回ワークショップの結果＞（ワークショップだより）

## 東浦町景観計画策定の

# ワークショップだより

Vol.2(平成 25 年 9 月) 発行:東浦町建設部都市計画課



### 第2回ワークショップを開催しました。

### ～東浦町の「よい景観」「大切にしたい景観」を考える～

秋の気配を感じるようになってきた一方で、台風などによる大雨にも時折見舞われますが、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

「東浦町景観計画策定のワークショップ」は、9月14日に第2回目を開催しました。今回から新しいメンバーも加わり、14名の方に集まっていただきました。

今回は、2つのグループに分かれて、東浦町の「よい景観」「大切にしたい景観」を参加者のみなさんに出していただき、意見交換しました。住民の方ならではの、生活に密着した身近な景観に対する想いをたくさん出していただきました。意見の一部を紹介します。

景観・場所	よいと思う理由、大切にしたい理由
健康の森付近から北部中学校付近を眺める	昔から遊んでいた岡田川から北部中学校に向かうなだらかな緑の丘の景色に癒される。
北部グラウンドと周辺の公園	とても癒される景色。釣り場所としても最高。
寿一区、寿二区	北部中学校から森岡台をみる。多くの人の散歩道、中学生の通学路。
村木神社	村木砦における天下分け目の戦いを感じたい。しだれ桜。
北部中学校西側の曲った道	カーブが非常に印象的でおもしろい。
東浦名古屋線に町道がぶつかる濁池西交差点	健康の森方面の眺望。冬の空気の澄んだ日には雪をかぶった山が美しい。
入海神社通りと沿道の家並み	瓦の切妻屋根、黒い杉板の下見板張り、郷倉なども多く、残したい。
緒川の道標	知られていない。
明德寺川の散歩道（於大のみち）	四季の花、鳥、魚などの自然、生き物が感じられる。
自然環境学習の森、新池から南方向の里山風景	昭和30年代の昔の里山を思い出し、ほっとする空間。
緒川三角の県道から境川上流と下流	未開拓の感じ、北の葦のある水面の風景。
国道366号バイパス	御岳山がクローズアップされたように見える。
各地区の神社	境内は祭りなどの地区の行事、子どもの遊び場であり、地区の中心。
伊久智神社の下の家並み	狭い道と黒い家並みが落ち着く。
大生紡績の女子寮	女子寮は誰も入っていないが、昔の景観が保たれている。
大蔵屋（通称：さんかくや）	ポタン、糸からビール、たばこ、文房具も売っている。
衣ヶ浦 藤江越し跡	とても可能性のありそうな場所。
緒川新田のJA東側の桜並木	とてもきれいな並木道。
西部中グラウンド裏から里山風景	草をかきわけていける。野鳥観察会で歩いた里山。

ワークショップの最後には、グループごとに参加者の代表の方に、意見交換の結果を発表していただきました。みなさん、とても思いを込めてお話ししていただきました。



第3回では、グループごとに、「よい景観」「大切にしたい景観」として出された場所を実際に見に行き、現場でどのような取組みをすべきかを考えます。

：今後の予定>>

**【第3回ワークショップ】10月5日（土曜日） 10時から12時**  
**「東浦町のよい景観・大切にしたい景観を見に行く」**  
 東浦町役場西会議室に集合してから、現場に出掛けて行きます。



<第3回ワークショップの結果> (ワークショップだより)

東浦町景観計画策定の

# ワークショップだより

Vol.3(平成 25 年 10 月) 発行:東浦町建設部都市計画課



**第3回ワークショップでは、「よい景観」「大切にしたい景観」と考える現場に行きました。**

東浦町でも各地区で秋の祭礼がおこなわれています。食べ物もおいしい季節になっていますが、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

「東浦町景観計画策定のワークショップ」は、10月5日に第3回目を開催しました。

今回は、第2回でグループごとに出していただいた東浦町の「よい景観」「大切にしたい景観」を、現場に見に行きました。東浦町内といえども、初めて行った場所、初めて見た景観も多く、参加者のみなさんは、東浦の景観の多様さを改めて認識されたようでした。

<Aグループが見学した場所>

- 衣ヶ浦藤江越し跡 (藤江)      ○村木神社 (森岡)
- 緒川界わい散策 (入海神社・傳宗院・東光寺・了願寺・緒川城址など)



衣ヶ浦藤江越し跡



森岡の村木神社



緒川の町並み (入海神社の通り)



緒川の路地 (入海神社の裏あたり)



緒川の町並み (字屋敷区あたり)



緒川城址

<Bグループが見学した場所>

- 寿地区 (緒川)      ○森岡界わい・緒川界わい (車窓から)      ○国道 366 号バイパスの眺め
- 大生紡績旧女子寮・伊久智神社界わい (生路)      ○藤江界わい (大蔵屋周辺)



寿地区から北部中学校方面の眺め



国道 366 号バイパスからの眺め



生路の大生紡績旧女子寮



伊久智神社（境内と大楠の森）



藤江の須賀川



藤江の大蔵屋（字松本あたり）

### ＜参加者のみなさんの主な感想・ご意見（抜粋）＞

- ・車で通りすぎるのではなく、歩いて見てみると改めて良さを感じる。
- ・景観を守る場所を決めないとどんどん消えていきそう。
- ・残さなくてはならない大事なものがたくさんあると思った。
- ・古い家、細い道など意外と情緒ある。
- ・景観の良さを共有するため、フォトコンテスト等を企画してPRしたらどうか。
- ・村木神社の石垣が木の根の影響で崩れかけていることが心配。
- ・緒川界わいで廃墟が増加している点が気になった。
- ・緒川城址について何か活用できないか。
- ・北部中方向の眺望は良いが、開発がされると景観が損なわれてしまうのではと心配。
- ・伊久智神社は、日ごろの手入れが行き届いていると思う。大楠は是非残していきたい。
- ・大生紡績の2階建女子寮の建物は、歴史遺産として移築、保全が考えられないか。
- ・紡績業の遺構を保存するための活動ができないか。町として記念館とするとか。
- ・藤江越し跡に廃船が数隻放置されている点が気になった。
- ・通過者にとっての良否よりも、地域住民としての視点が大切だと思う。

第4回では、参加者のご意見や住民アンケートの結果などから、東浦町の景観資源マップをつくとともに、東浦町の景観形成の基本方針をみなさんと考えます。

### ＜次回の予定＞

**【第4回ワークショップ】**

**10月26日（土曜日）10時から12時 東浦町役場西会議室**  
**「景観資源マップをつくる」「景観形成の基本方針を考える」**



<第4回ワークショップの結果> (ワークショップ日より)

# 東浦町景観計画策定の ワークショップ日より



Vol.4(平成 25 年 11 月) 発行:東浦町建設部都市計画課

**第4回ワークショップでは、東浦町の景観資源図を検討し、  
景観づくりの基本方針について話し合いました。**

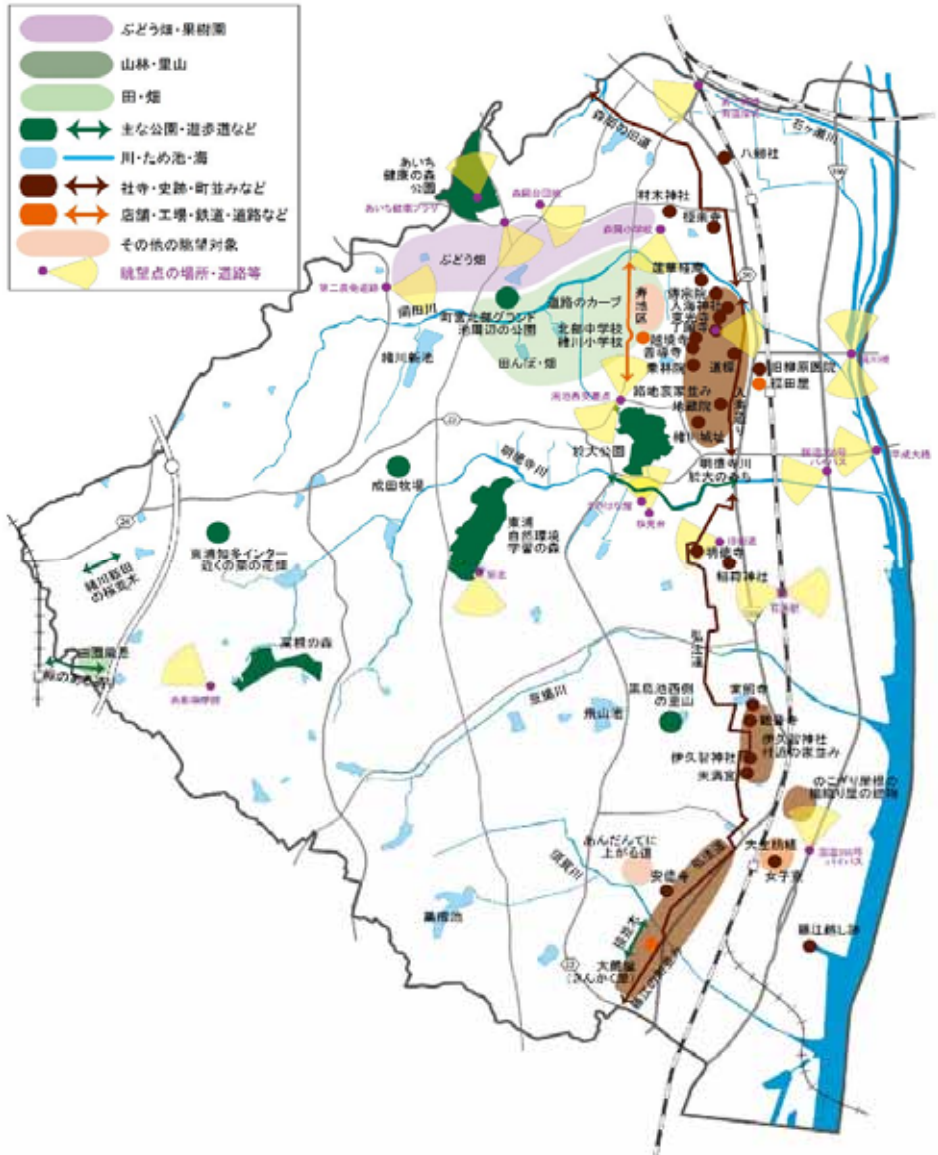
今年は寒さが急にやってきましたが、体調などを崩されてはいませんか？

「東浦町景観計画策定のワークショップ」は、10月26日に第4回目を開催しました。

今回は、これまでの意見交換や現地のまちあるき等をふまえて、グループごとに「景観資源図」を作成しました。また、東浦町の景観づくりをどのような考え方で行うべきかについて話し合いました。

参加者のみなさんの、東浦町に対する想いや愛着が強く感じられる意見も多く、景観づくりの重要性が改めて感じられました。

<ワークショップの意見  
による景観資源図>



＜景観づくりの基本方針に対する主な意見＞

東浦町が景観づくりに取り組む目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東浦を自慢したくなる景観づくり。東浦への誇りや愛着を育む景観づくり。</li> <li>○東浦に住みたくなる、住み続けたいくなる景観づくり。</li> <li>○子どもや孫に東浦の自然や歴史を伝え残す景観づくり。</li> <li>○東浦町の持続的な発展に貢献する景観づくり。</li> <li>○住む場所として魅力が高まる景観づくり。</li> <li>○東浦にふるさつを感じる景観づくり。</li> <li>○歩いて楽しめる景観づくり。</li> </ul>
東浦においてどのような景観づくりを行うべきか	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6つの地区ごとの拠点の景観を大切にする。</li> <li>○東浦にしかないものを景観づくりを通じて感じ取ってもらう。</li> <li>○グラデーションのある景観づくり。</li> <li>○緑豊かな自然と調和した景観づくり。</li> <li>○歴史を感じる景観づくり</li> <li>○まちなかの小さなホッとする景観を保全する。</li> <li>○観光資源としての景観づくりを行う。</li> </ul>
東浦における景観づくりのポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての住民が景観を自分ごとで考える。</li> <li>○景観を守りたいという想いを育てる。</li> <li>○子どもや住民が景観づくりへの関心を持つための取組み。</li> <li>○自然での遊び方を教えながら、子どもたちに東浦の景観を伝える。</li> <li>○景観資源だけではなく、景観資源の周りを保全。</li> <li>○住民が入ることができる里山づくり。</li> <li>○古きを活かしたまちの再生（空き家を拠点施設として活用）</li> <li>○緑の多い住宅地づくり。1人1本ずつ植栽する。</li> <li>○自然と共生し、里山や公園をネットワークさせる。</li> <li>○神社・寺院などの歴史資源を保全する。</li> <li>○昔のよいものを残しながら、現代風に活用する。</li> <li>○景観づくりを商店や商業の活性化につなげる。</li> <li>○観光振興と連携する。</li> <li>○景観に関する情報を発信する。景観づくりに取り組んでいる人をつなげる。</li> <li>○季節ごとの花や植物の見どころをつくる。</li> <li>○居心地のよい景観の視点場を整備する。</li> </ul>
景観計画に記載すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○景観づくり、景観を守るステップ。</li> <li>○景観資源を維持・保全・管理する手法。</li> <li>○景観づくりや景観保全に住民が関わるしくみづくり。</li> <li>○住民が東浦のよさに気付くためのしかけづくり。</li> <li>○東浦で大切にしたいゾーンを決める。</li> </ul>

第5回は最終回となり、これまでの議論を踏まえ、景観資源図と景観づくりの基本方針案をとりまとめて、東浦町に提案します。

＜次回の予定＞

**【第5回ワークショップ】**

**11月30日（土曜日）10時から12時 東浦町役場西会議室**

**「景観資源図と景観づくりの基本方針案をとりまとめる」**



＜第5回ワークショップの結果＞（ワークショップ日より）

東浦町景観計画策定の

# ワークショップ日より



Vol.5（平成25年12月）発行：東浦町建設部都市計画課

**第5回では、ワークショップからの提案による  
景観構造図と景観資源図を作成しました。**

「東浦町景観計画策定のワークショップ」は、11月30日に第5回目を開催しました。

今回は、これまで検討してきた景観構造図と景観資源図をみなさんで仕上げ、町に提案していただきました。また、今後の景観づくりの方針やアイデアについて意見交換していただきました。

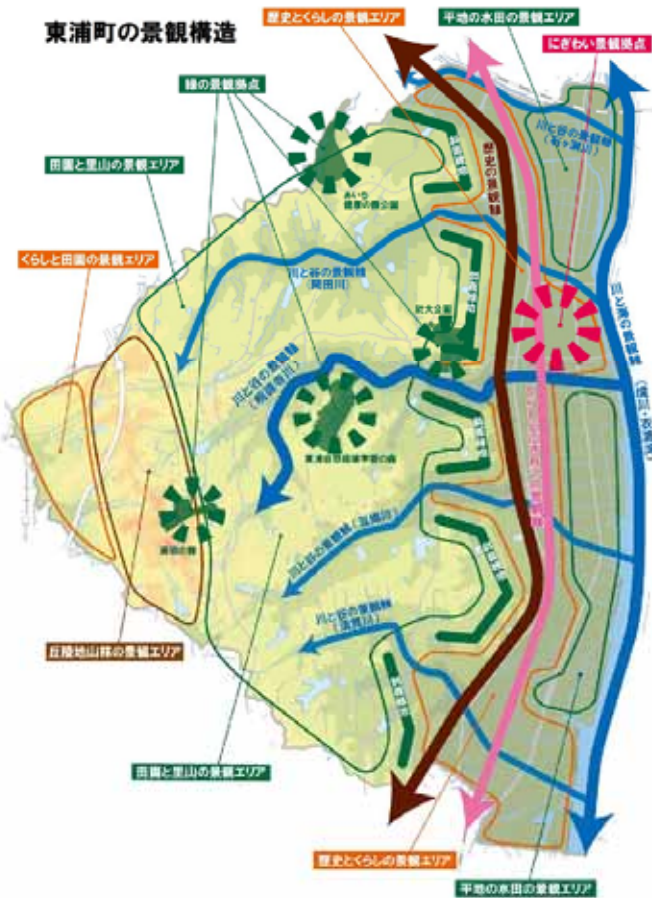
5回のワークショップを通じて、参加者のみなさんには景観づくりの重要性を認識していただき、今後、住民を広く巻き込みながら、着実に進めていって欲しいとの意見をいただきました。

ワークショップの最後には神谷町長も参加し、景観づくりへの想いを皆さんと意見交換しました。

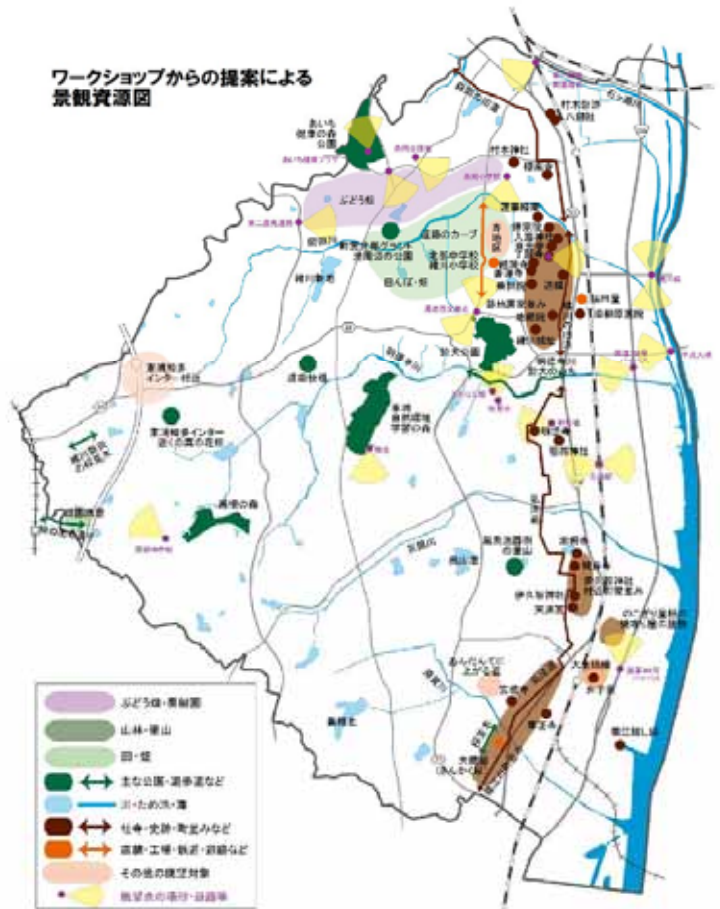
＜ワークショップ提案の「景観構造図」＞

＜ワークショップ提案の「景観資源図」＞

東浦町の景観構造



ワークショップからの提案による  
景観資源図





<今後の東浦町の景観づくりに対する意見・提案>

<p>景観づくりの考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆田園景観より、里山などの自然を大切にすることを強調したい。</li> <li>◆目に見える景観資源だけではなく、古い地名なども伝え残していきたい。</li> <li>◆景観形成により、東浦町の産業構造が見えるものにしていきたい。</li> <li>◆町並みの空き家は、家主との関係から難しい面もあるが、「残したい」「活用した」という町民の想いは明確にしておく必要がある。</li> <li>◆空き地・空き家は、地域では負の側面もあるため、これを踏まえた対応を考えたい。</li> <li>◆将来的に町外から東浦に新しい人が移り住んだ時に、潤いを感じられる景観にしたい。</li> <li>◆じっくりと腰を据えて景観づくりに取り組むことが必要だが、ひとつひとつ着実に取り組むようにしていきたい。</li> <li>◆景観づくりには草刈り、落ち葉拾い、ゴミ掃除など、地味な作業も大切である。現在も地域の人が苦勞しながら景観が維持されており、このことも表現していきたい。</li> <li>◆景観づくりを通じて、東浦に対する住民ひとりひとりの意識を濃くしていきたい。</li> </ul>
<p>景観計画の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大切にしたい景観資源が失われている現状がある。景観計画において残したい根拠やポイントを明確に記載したい。</li> <li>◆住民の「保全したい」の想いを景観計画で表現したい。</li> <li>◆明德寺川を守る取組のように、住民の取組みや組織が大切であることを強調したい。</li> <li>◆景観づくりが現状維持優先で、今後新しいまちづくりができないような印象にならないように、うまく表現していきたい。前向きで夢のある景観計画にしたい。</li> <li>◆名古屋に近く暮らしやすい街なので今後もしばらく人口増になると思うが、無秩序な開発にせず、景観のよい質の高い住宅地を誘導したい。</li> <li>◆今回の WS のメンバーだけではなく、多くの人々の意見を取り入れる機会が必要だと思う。居住地として、東浦に住んでいる人の意見を大切にしたい。</li> </ul>
<p>景観づくりの基本理念</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東浦町の特有の地名やキーワードを入れながら、想いを込めたタイトルをつけたい。 (オニバス、オオタカ、カワセミ、野生の残る自然、里山、於大の里・・・)</li> <li>◆自然・田園・歴史や新しい街が、コンパクトにまとまっていて、近くでいろいろな景観資源に出会えるという、東浦の景観の特徴を入れたい。</li> </ul>



<<今後の予定>>

- 今回のワークショップからの提案を踏まえて、3月までに「景観計画中間報告書」をとりまとめます。
- 平成26年度には、住民の代表者や有識者により検討委員会を設置し、「東浦町景観計画」を策定し、景観づくりをスタートさせます。

<第5回ワークショップの結果> (景観資源マップ)

ワークショップからの提案による  
景観資源図

